

平成 30 年度
6 次産業化における地産地消
実施状況調査

平成 31 年 3 月

一般財団法人 食品産業センター

目 次

I 平成 30 年度 6 次産業化における地産地消実施状況調査の概要

II 調査結果の概要

テーマ 1. 機能性食品

- ①国内産原料を主要原料とした機能性食品の有無
- ②国内産原料を主要原料とした機能性食品が自社の機能性食品の売上高に占める割合
- ③国内産原料を主要原料とした機能性食品の種類と具体的品名
- ④国内産原料を主要原料とした機能性食品を販売するに当たり、アピールしている点
- ⑤国内産原料の活用についての今後の意向
- ⑥地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品の有無
- ⑦地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品が自社の機能性食品の売上高に占める割合
- ⑧地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品の種類と具体的品名
- ⑨地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品を販売するに当たり、アピールしている点
- ⑩地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

テーマ 2. 介護食品

- ①国内産原料を主要原料とした介護食品の有無
- ②国内産原料を主要原料とした介護食品が自社の介護食品の売上高に占める割合
- ③国内産原料を主要原料とした介護食品の種類と具体的品名
- ④国内産原料を主要原料とした介護食品を販売するに当たり、アピールしている点
- ⑤国内産原料の活用についての今後の意向
- ⑥地域の特色ある農林水産物を主要原料とした介護食品の有無
- ⑦地域の特色ある農林水産物を主要原料とした介護食品が自社の介護食品の売上高に占める割合
- ⑧地域の特色ある農林水産物を主要原料とした介護食品の種類と具体的品名

- ⑨地域の特色ある農林水産物を主要原料とした介護食品を販売するに
当たり、アピールしている点
- ⑩地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

テーマ3. 病院の給食メニュー

- ①国内産原料を主要原料とした病院給食の有無
- ②国内産原料を主要原料とした病院給食が自社の病院給食の
売上高に占める割合
- ③国内産原料を主要原料とした病院給食の種類と具体的品名
- ④国内産原料を主要原料とした病院給食を提供するに当たり、
アピールしている点
- ⑤国内産原料の活用についての今後の意向
- ⑥地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食の有無
- ⑦地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食が
自社の病院給食の売上高に占める割合
- ⑧地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食の種類と
具体的品名
- ⑨地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食を提供するに
当たり、アピールしている点
- ⑩地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

テーマ4. 高齢者福祉施設の給食メニュー

- ①国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食の有無
- ②国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食が自社の高齢者福祉施
設給食の売上高に占める割合
- ③国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食の種類と具体的品名
- ④国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食を提供するに当たり、
アピールしている点
- ⑤国内産原料の活用についての今後の意向
- ⑥地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食の有無
- ⑦地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食が
自社の高齢者福祉施設給食の売上高に占める割合
- ⑧地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食の種類
と具体的品名
- ⑨地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食を
提供するに当たり、アピールしている点

- ⑩地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

テーマ5. 社員食堂のメニュー

- ①国内産原料を主要原料とした料理の有無
- ②国内産原料を主要原料とした料理が自社の料理の売上高に占める割合
- ③国内産原料を主要原料とした料理の種類と具体的品名
- ④国内産原料を主要原料としたメニュー料理を販売するに当たり、
アピールしている点
- ⑤国内産原料の活用についての今後の意向
- ⑥地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の有無
- ⑦地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理が
自社の料理の売上高に占める割合
- ⑧地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の種類と
具体的品名
- ⑨地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理を販売するに当たり、
アピールしている点
- ⑩地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

テーマ6. e-コマースで販売される農林水産物・食品

- ①国産の農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無
- ②国産の農林水産物又は国産主要原料食品が、自社の農林水産物又は国産
主要原料食品のeコマースの売上高に占める割合
- ③国産の農林水産物又は国産主要原料食品の種類と具体的品名
- ④国産の農林水産物又は国産主要原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点
- ⑤国内産原料の活用についての今後の意向
- ⑥地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の有無
- ⑦地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品が、自社のeコマ
ースにおける農林水産物又は地域産主要原料食品の売上高に占める割合
- ⑧地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品の種類と具体的品名
- ⑨地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点
- ⑩地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の活用についての
今後の意向

テーマ7. 宅配で販売される農林水産物・食品

- ①国産の農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無
- ②宅配における国産の農林水産物又は国産主要原料食品が
自社の宅配の売上高に占める割合
- ③国産の農林水産物又は国産主要原料食品の種類と具体的品名
- ④国産の農林水産物又は国産主要原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点
- ⑤国内産原料の活用についての今後の意向
- ⑥地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の有無
- ⑦地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品が、自社の宅配に
おける農林水産物又は地域産主要原料食品の売上高に占める割合
- ⑧地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品の種類と具体的品名
- ⑨地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点
- ⑩地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の活用についての
今後の意向

I 平成30年度6次産業化における地産地消実施状況調査の概要

1. 調査の目的

農林水産省では、国産や地場産の農林水産物を加工食品や施設給食等の原材料として活用する取組を推進しているところ。

6次産業化の取組である機能性食品や介護食品の製造、病院や高齢者福祉施設等における施設給食、eコマースや食品の宅配等の業務形態ごとの国産や地場産の農林水産物の活用状況をよりきめ細かく把握することで、地産地消に関する今後の施策推進に活用することを目的としています。

2. 調査の方法

(1) 調査時期

平成31年2月～3月

(2) 調査対象（調査票配布）

テーマ1：機能性食品（96社）

テーマ2：介護食品（96社）

テーマ3：病院給食のメニュー（96社）

テーマ4：高齢者福祉施設の給食メニュー（96社）

テーマ5：社員食堂のメニュー（96社）

テーマ6：eコマースで販売される農林水産物・食品（101社）

テーマ7：宅配で販売される農林水産物・食品（131社）

合計 714社

(3) 調査方法

郵送された調査票（質問用紙）にモニターが回答を記入、返送。

3. 報告書を読む際の注意事項

(1) 集計表中、構成比(%)は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

(2) 本文中のグラフ及び集計表の構成比(%)欄中の記号は、以下のとおりです。

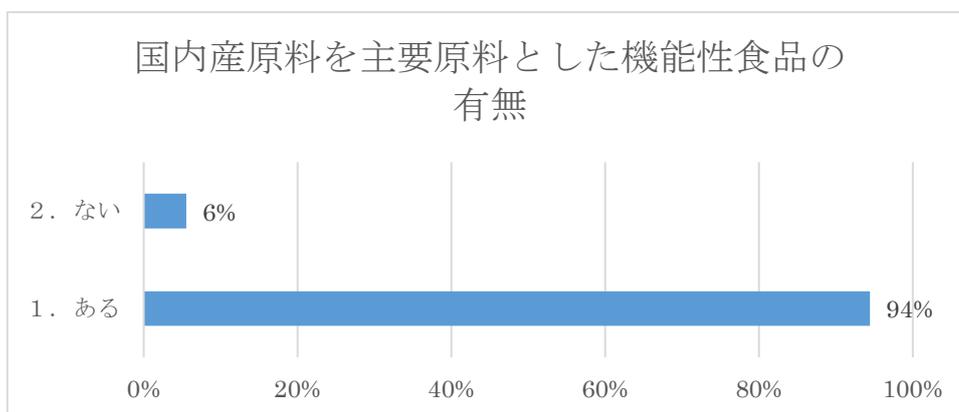
「0：事実のないもの」

Ⅱ 調査結果の概要

テーマ 1. 機能性食品について

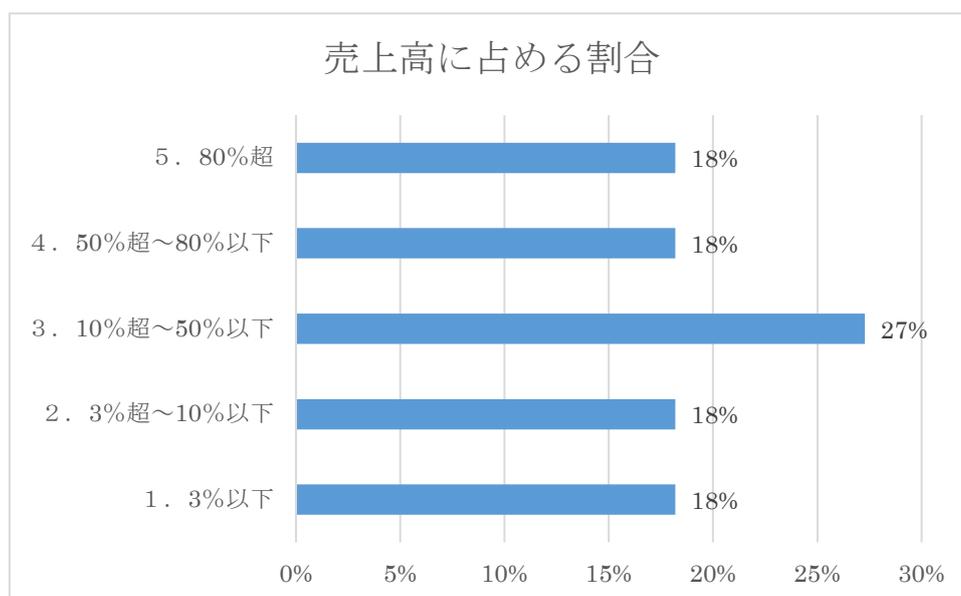
① 国内産原料を主要原料とした機能性食品の有無

機能性食品を製造・販売する企業に国内産原料を主要原料とした機能性食品の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く 94%であった。



② 国内産原料を主要原料とした機能性食品が自社の機能性食品の売上高に占める割合

①で「ある」と回答した企業に対し、国内産原料を主要原料とした機能性食品が自社の機能性食品の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した企業の割合が高く、27%であった。

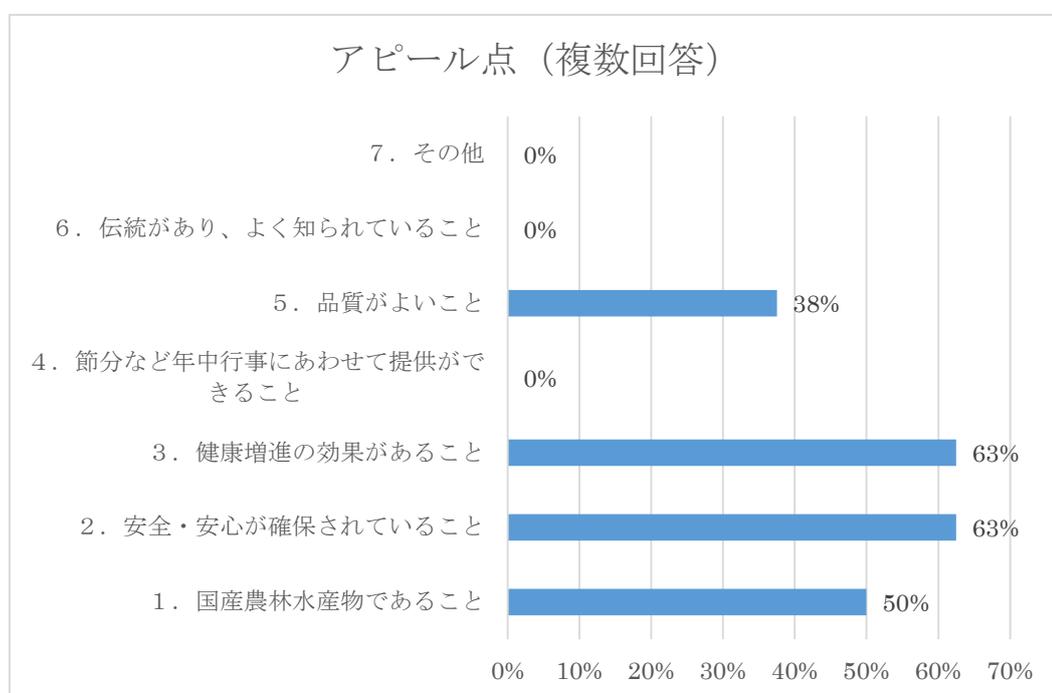


③ 国内産原料を主要原料とした機能性食品の種類と具体的品名

国内産原料を主要原料とした機能性食品の種類を聞いたところ、最も多かったのは「その他」であった。

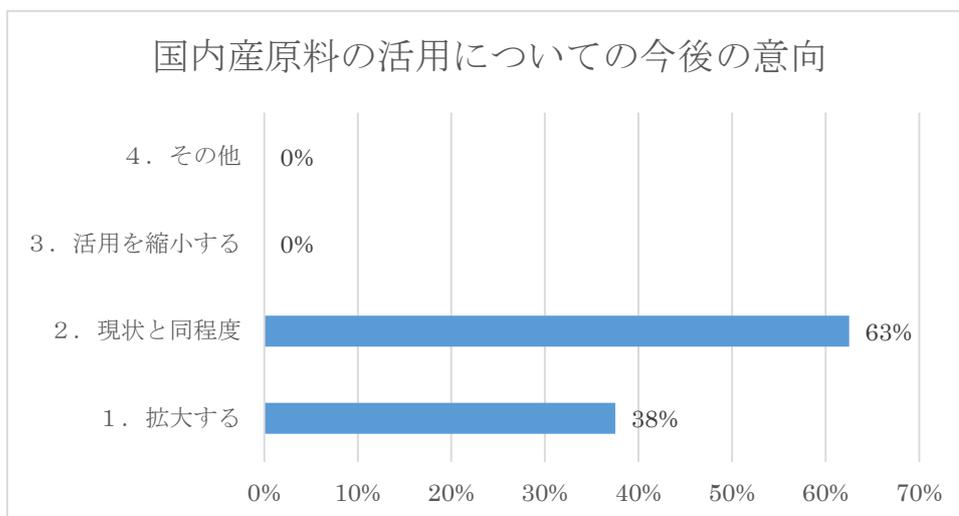
④ 国内産原料を主要原料とした機能性食品を販売するに当たり、アピールしている点

国内産原料を主要原料とした機能性食品を販売するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「安全・安心が確保されていること」と「健康増進の効果があること」と回答した企業の割合が高く、63%であった。次に割合が高かったのは「国産農林水産物であること」の50%であった。



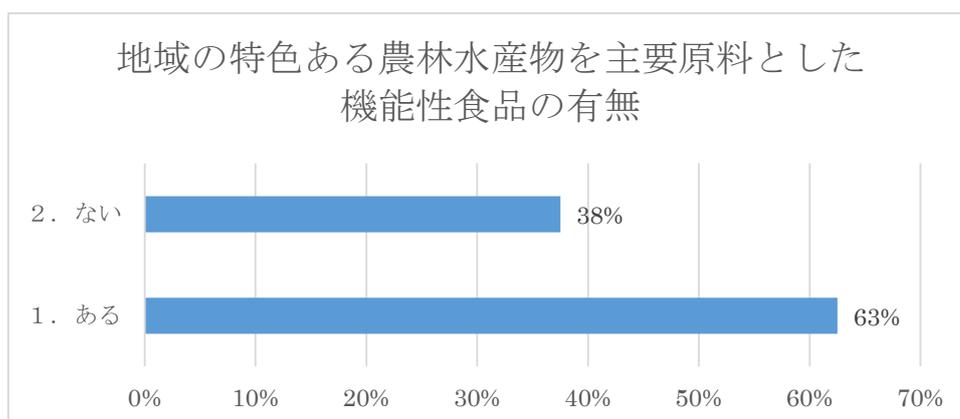
⑤ 国内産原料の活用についての今後の意向

国内産原料の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した企業の割合が高く、63%であった。「拡大する」は38%であった。



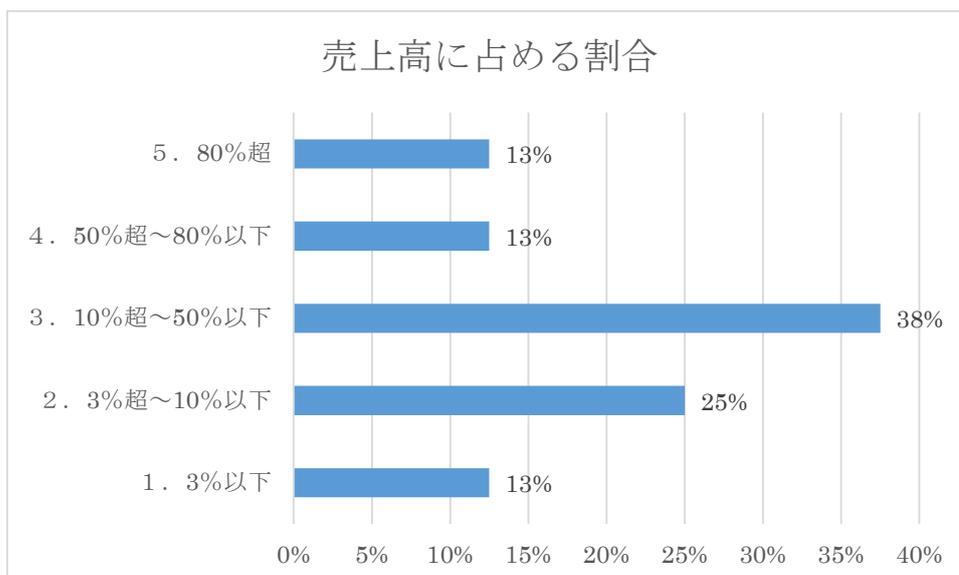
⑥ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品の有無

機能性食品を販売している企業に地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く 63%であった。



⑦ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品が、自社の機能性食品の売上高に占める割合

⑥で「ある」と回答した企業に対し、地域の特色ある農林水産物を主要原料とした機能性食品が自社の機能性食品の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した企業の割合が高く 38%であった。

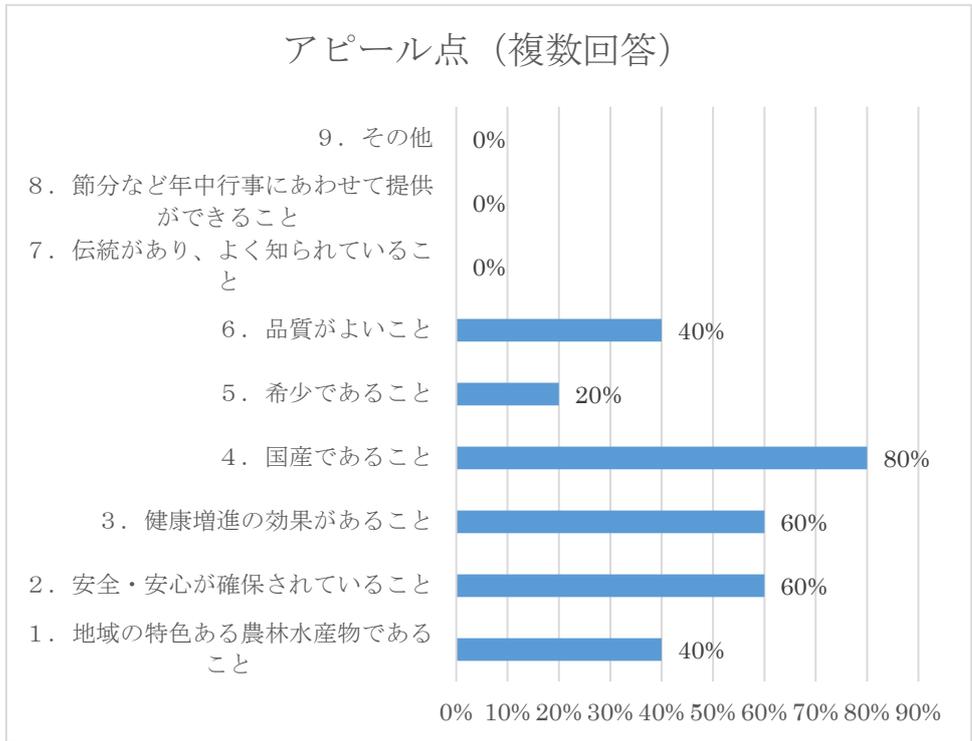


⑧ 地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした機能性食品の種類と
具体的品名

地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした機能性食品の種類を聞いたところ、ほとんど回答は得られなかった。

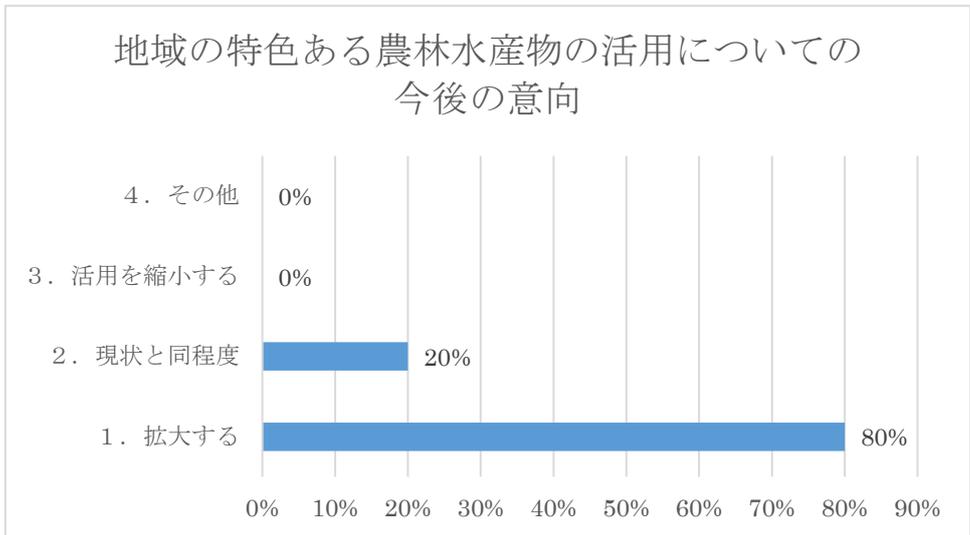
⑨ 地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした機能性食品を販売するに当たり、
アピールしている点

地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした機能性食品を販売するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「国産であること」と回答した企業の割合が高く、80%であった。次に割合が高かったのは「安全・安心が確保されていること」と「健康増進の効果があること」の60%であった。



⑩ 地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

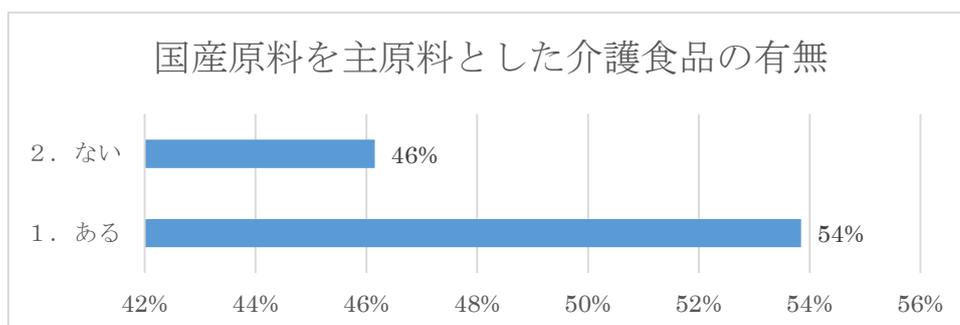
地域の特色ある農林水産物の活用について今後の意向を聞いたところ、「拡大する」と回答した企業の割合が高く、80%であった。



テーマ2. 介護食品について

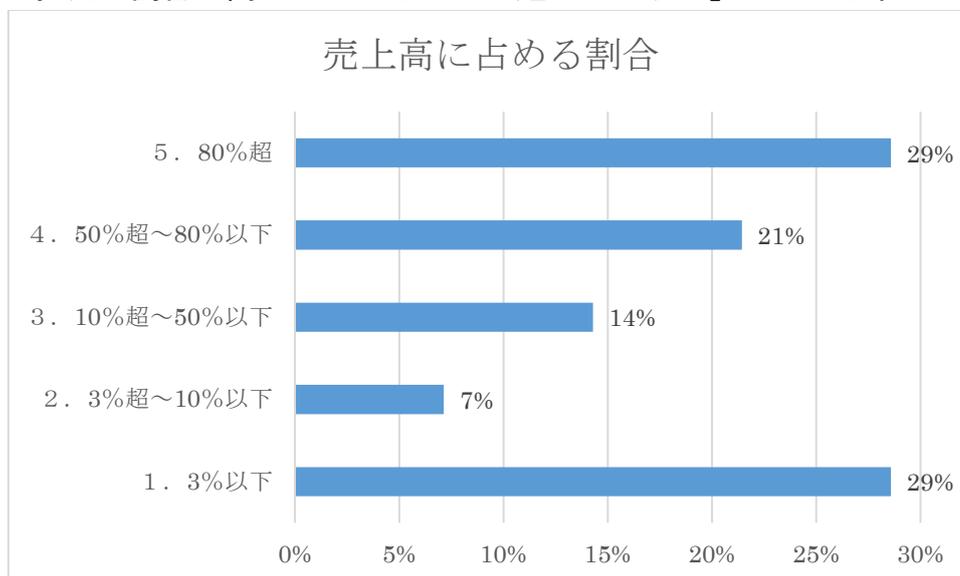
① 国内産原料を主要原料とした介護食品の有無

介護食品を製造・販売する企業に国内産原料を主要原料とした介護食品の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く 54%であった。



② 国内産原料を主要原料とした介護食品が自社の介護食品の売上高に占める割合

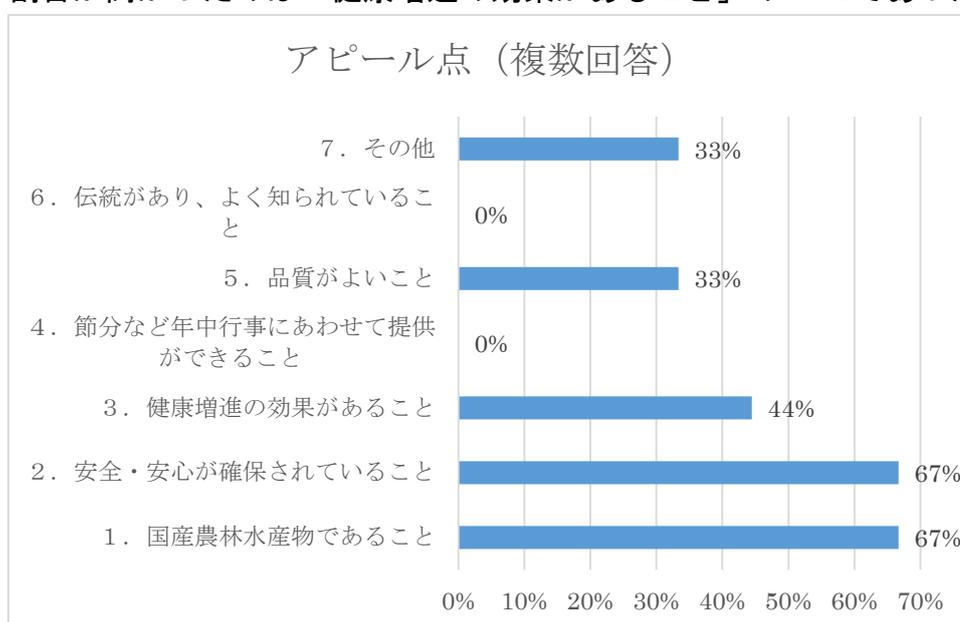
①で「ある」と回答した企業に対し、国内産原料を主要原料とした介護食品が自社の介護食品の売上高に占める割合を聞いたところ、「3%以下」と回答した企業と「80%超」と回答した企業の割合が高く、ともに 29%であった。次に割合が高かったのは「50%超～80%以下」の 21%であった



- ③ 国内産原料を主要原料とした介護食品の種類と具体的品名
国内産原料を主要原料とした介護食品の種類を聞いたところ、最も多かったのは「大豆」、次いで「米」であった。

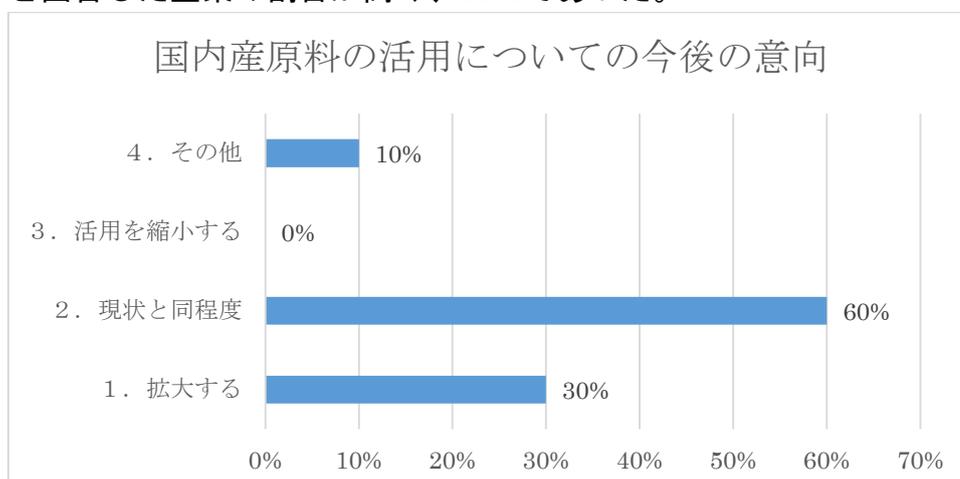
- ④ 国内産原料を主要原料とした介護食品を販売するに当たり、アピールしている点

国内産原料を主要原料とした介護食品を販売するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「国産農林水産物であること」と「安全・安心が確保されていること」と回答した企業の割合が高く、ともに67%であった。次に割合が高かったのは「健康増進の効果があること」の44%であった。



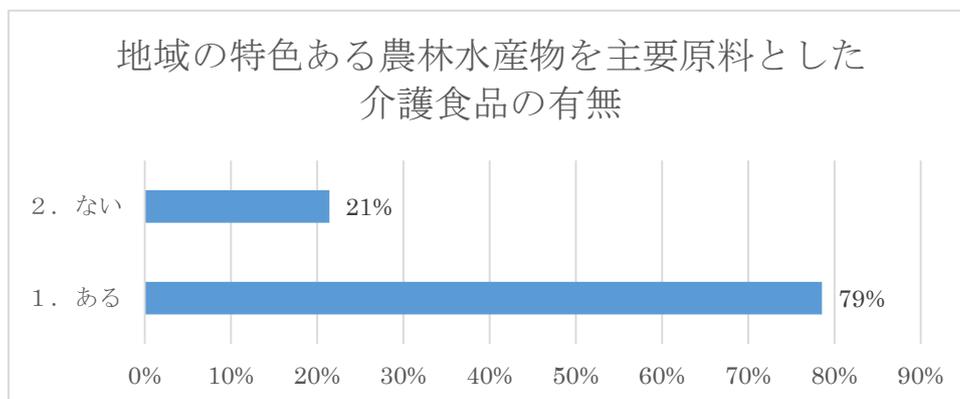
- ⑤ 国内産原料の活用についての今後の意向

国内産原料の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した企業の割合が高く、60%であった。



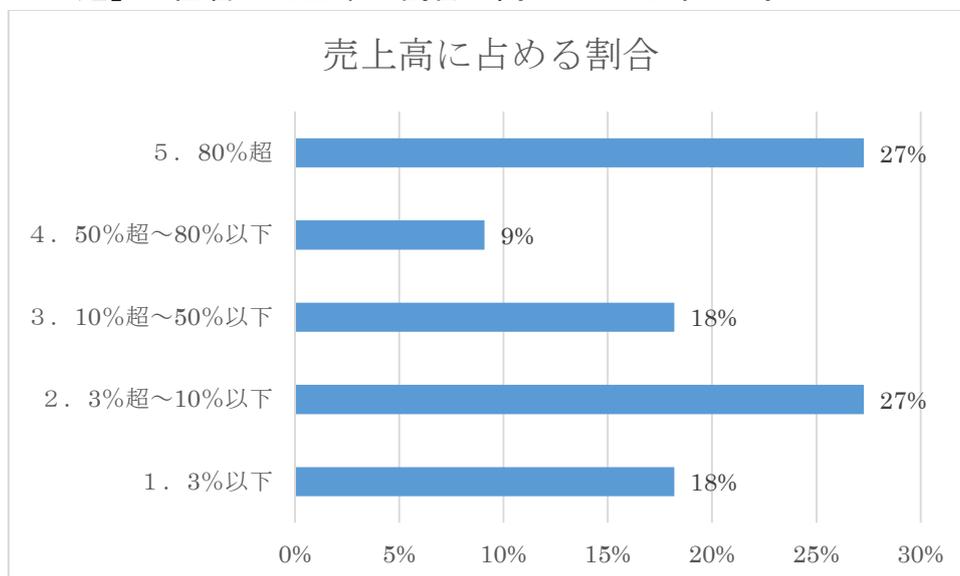
⑥ 地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした介護食品の有無

介護食品を販売している企業に地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした介護食品の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く79%であった。



⑦ 地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした介護食品が、自社の介護食品の売上高に占める割合

⑥で「ある」と回答した企業に対し、地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした介護食品が自社の介護食品の売上高に占める割合を聞いたところ、「80%超」と回答した企業の割合が高く27%であった。

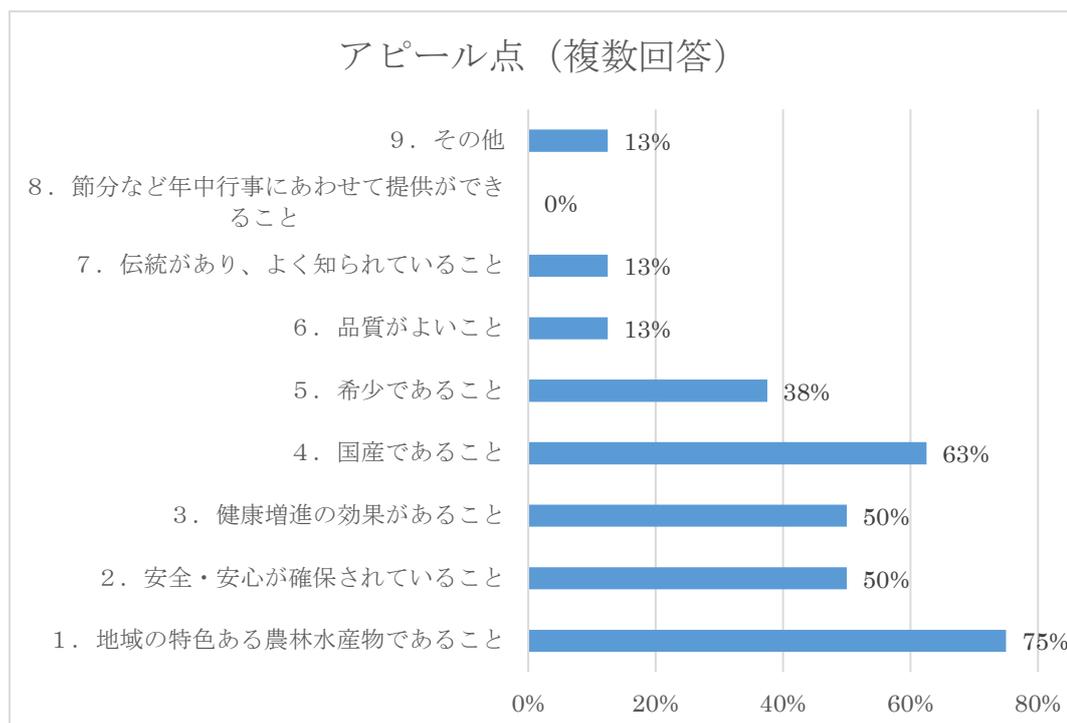


⑧ 地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした介護食品の種類と具体的品名

地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした介護食品の種類を聞いたところ、最も多かったのは「大豆」であった。

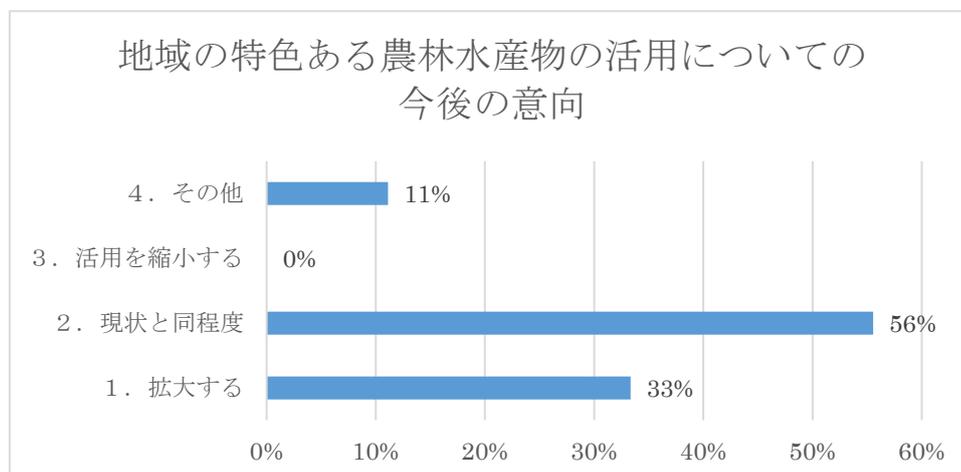
⑨ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした介護食品を販売するに当たり、アピールしている点

地域の特色ある農林水産物を主要原料とした介護食品を販売するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「地域の特色ある農林水産物であること」と回答した企業の割合が高く、75%であった。次に割合が高かったのは「国産であること」の63%であった。



⑩ 地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

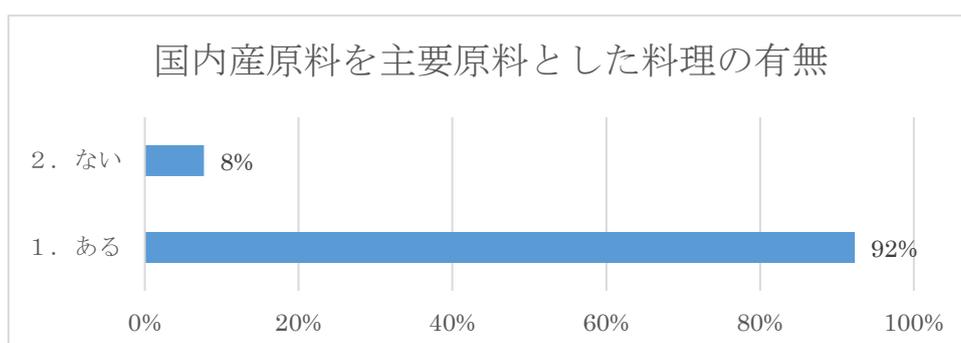
地域の特色ある農林水産物の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した企業の割合が高く、56%であった。



テーマ3. 病院の給食メニューについて

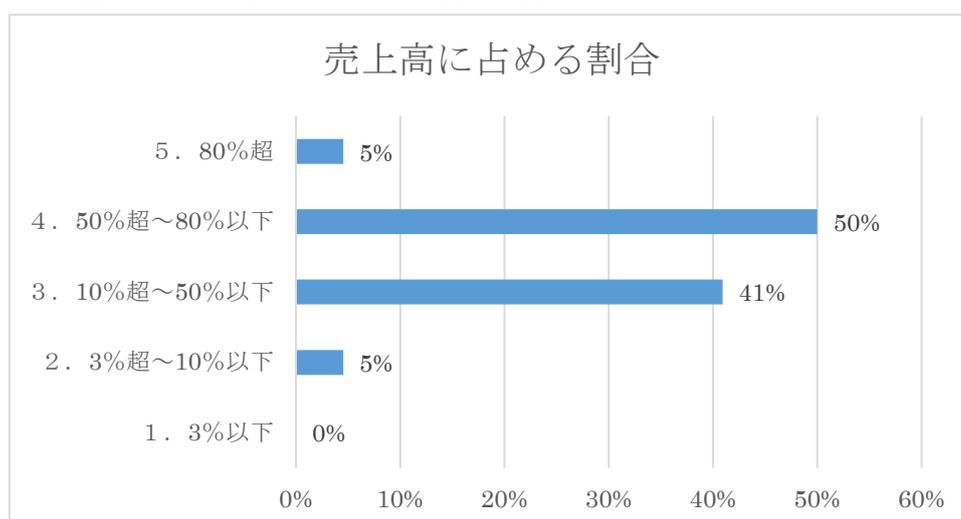
① 国内産原料を主要原料とした料理の有無

給食を提供している病院に国内産原料を主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ある」と回答した病院の割合が高く 92%であった。



② 国内産原料を主要原料とした病院給食が自社の病院給食の売上高に占める割合

①で「ある」と回答した病院に対し、国内産原料を主要原料とした病院給食が自社の病院給食の売上高に占める割合を聞いたところ、「50%超～80%以下」と回答した病院の割合が高く 50%であった。次に割合が高かったのは「10%超～50%以下」の41%であった。

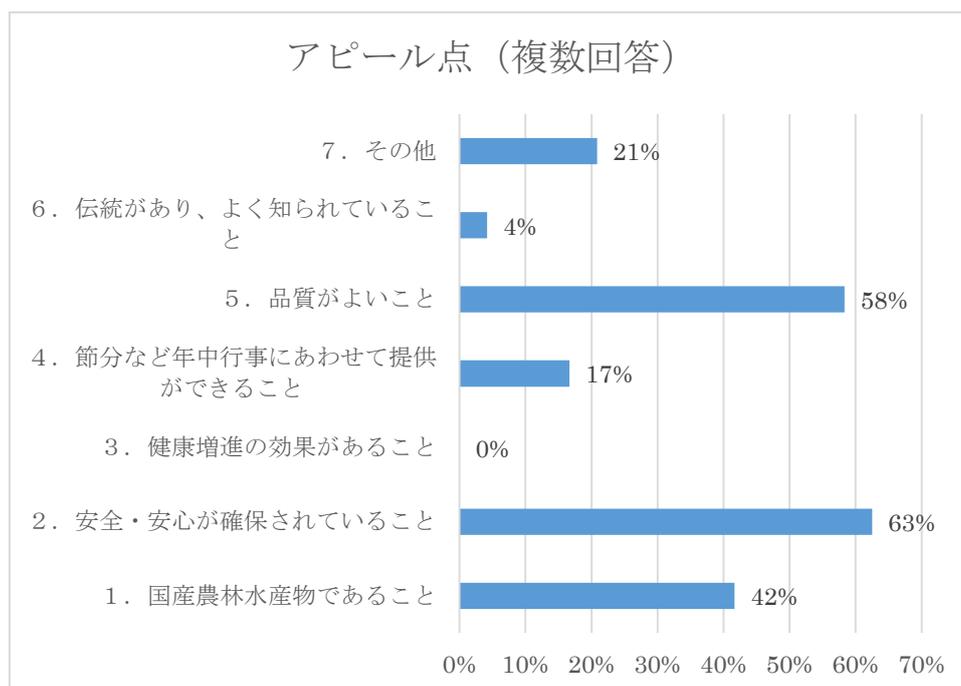


③ 国内産原料を主要原料とした病院給食の種類と具体的品名

国内産原料を主要原料とした病院給食の種類を聞いたところ、最も多かったのは「煮物」、次いで「米飯」であった。

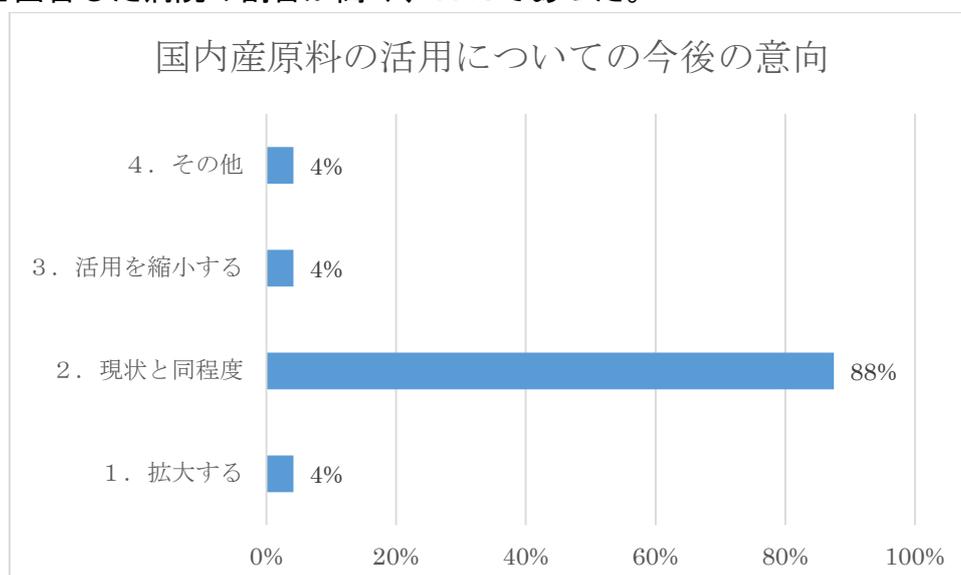
④ 国内産原料を主要原料とした病院給食を提供するに当たり、
アピールしている点

国内産原料を主要原料とした病院給食を提供するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「安全・安心が確保されていること」と回答した病院の割合が高く、63%であった。次に割合が高かったのは「品質がよいこと」の58%であった。



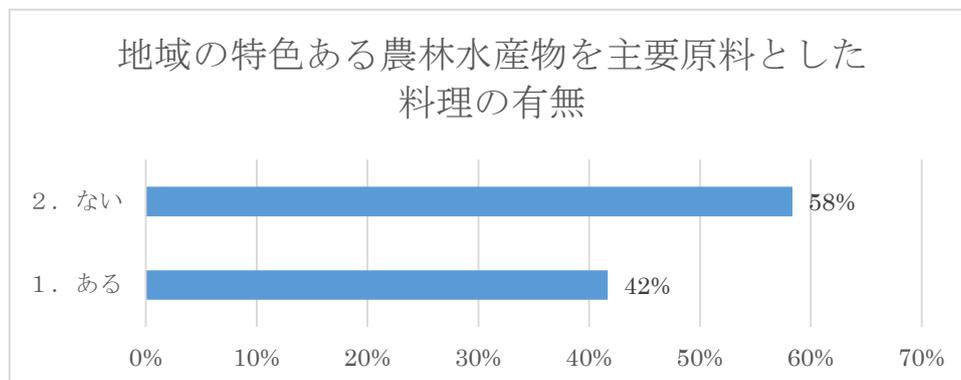
⑤ 国内産原料の活用についての今後の意向

国内産原料の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した病院の割合が高く、88%であった。



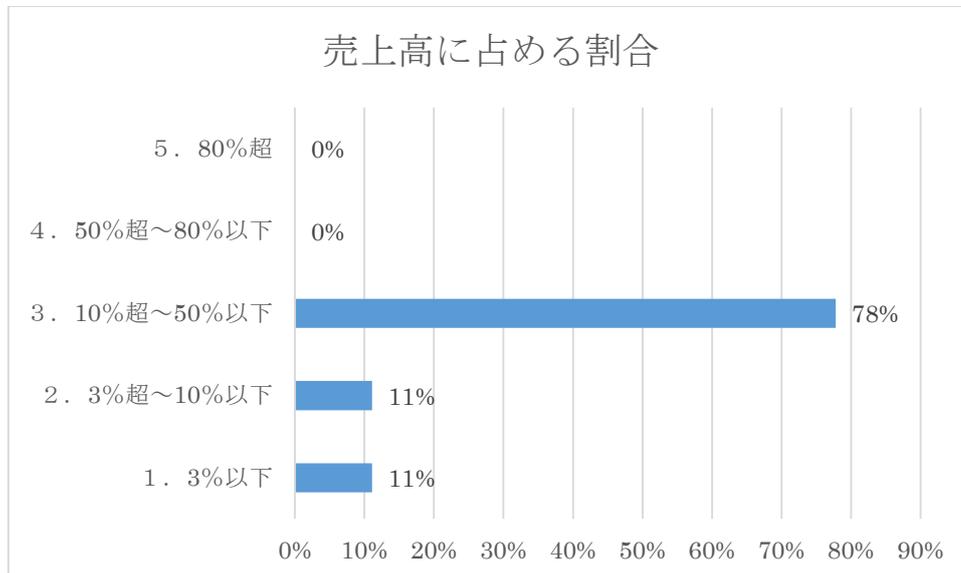
⑥ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食の有無

給食を提供している病院に地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ない」と回答した病院の割合が高く 58%であった。



⑦ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食が、自社の病院給食の売上高に占める割合

⑥で「ある」と回答した病院に対し、地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食が自社の病院給食の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した病院の割合が高く 78%であった。

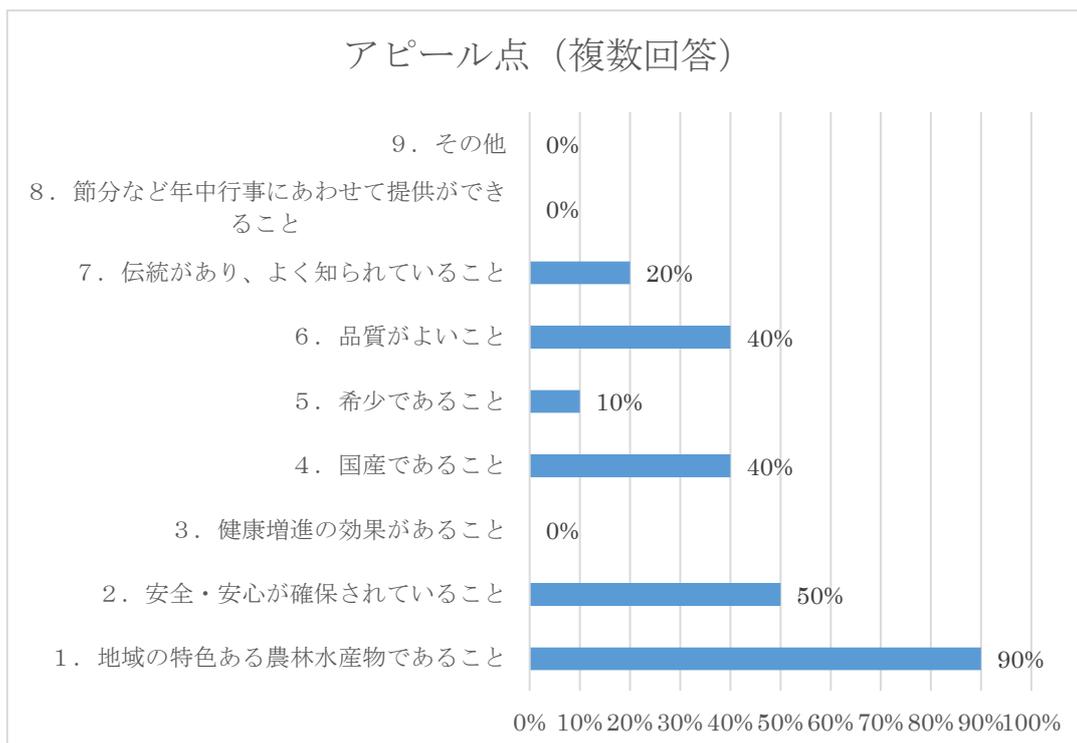


⑧ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食の種類と具体的品名

地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食の種類を聞いたところ、最も多かったのは「米飯」であった。

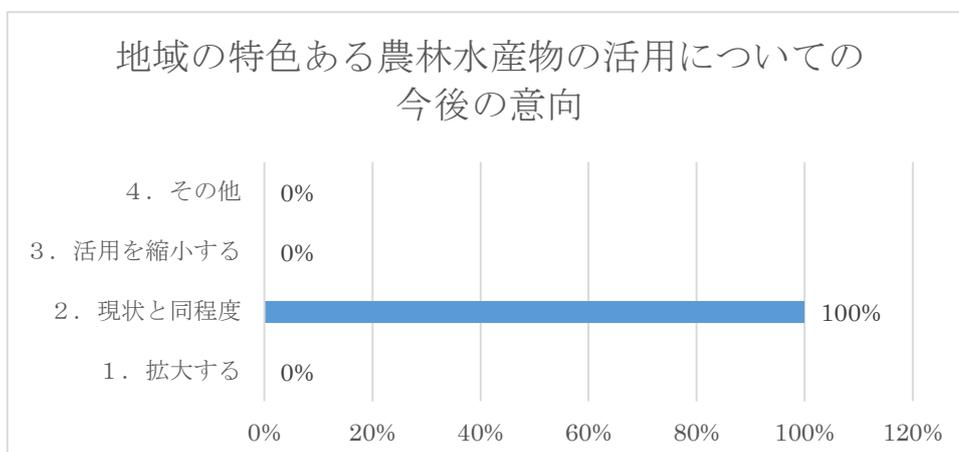
⑨ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食を提供するに当たり、アピールしている点

地域の特色ある農林水産物を主要原料とした病院給食を提供するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「地域の特色ある農林水産物であること」と回答した病院の割合が高く、90%であった。次に割合が高かったのは「安全・安心が確保されていること」の50%であった。



⑩ 地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

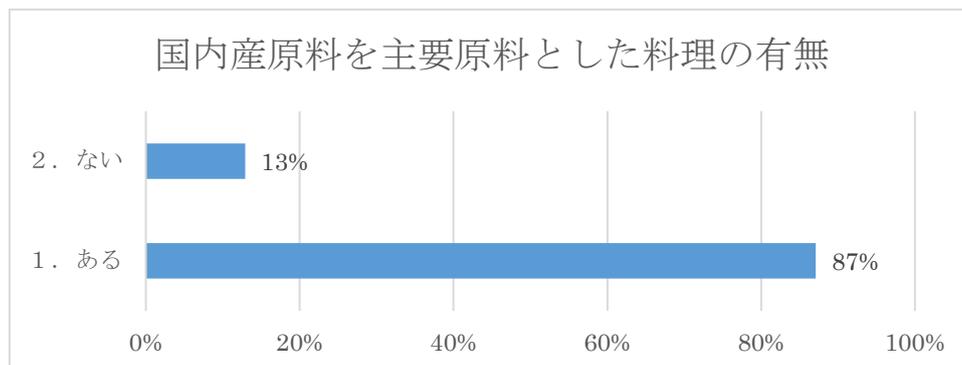
地域の特色ある農林水産物の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した病院の割合が高く、100%であった。



テーマ4. 高齢者福祉施設の給食メニューについて

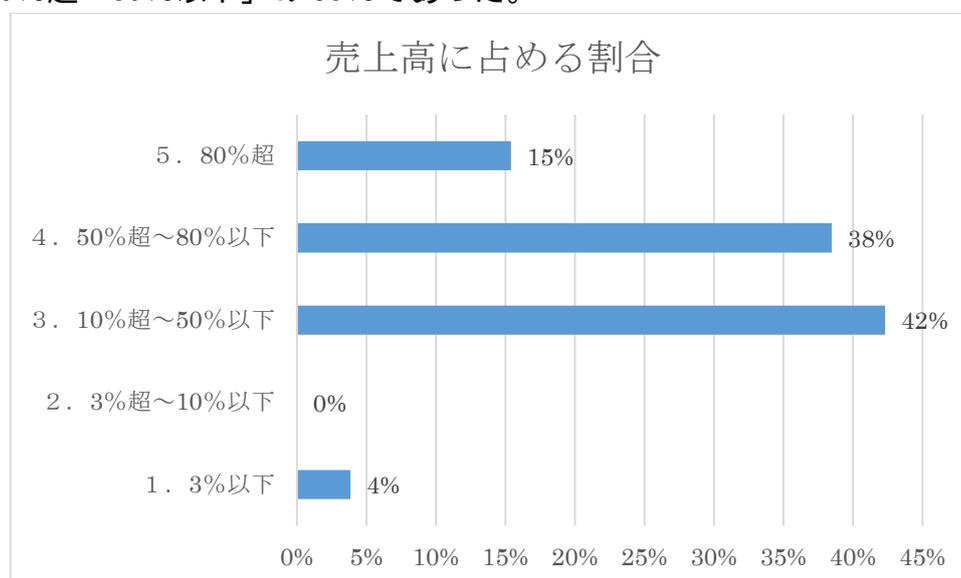
① 国内産原料を主要原料とした料理の有無

給食を提供している高齢者福祉施設に国内産原料を主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ある」と回答した施設の割合が高く87%であった。



② 国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食が自社の高齢者福祉施設給食の売上高に占める割合

②で「ある」と回答した病院に対し、国内産原料を主要原料とした病院給食が自社の病院給食の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した病院の割合が高く42%であった。次に割合が高かったのは「50%超～80%以下」の38%であった。

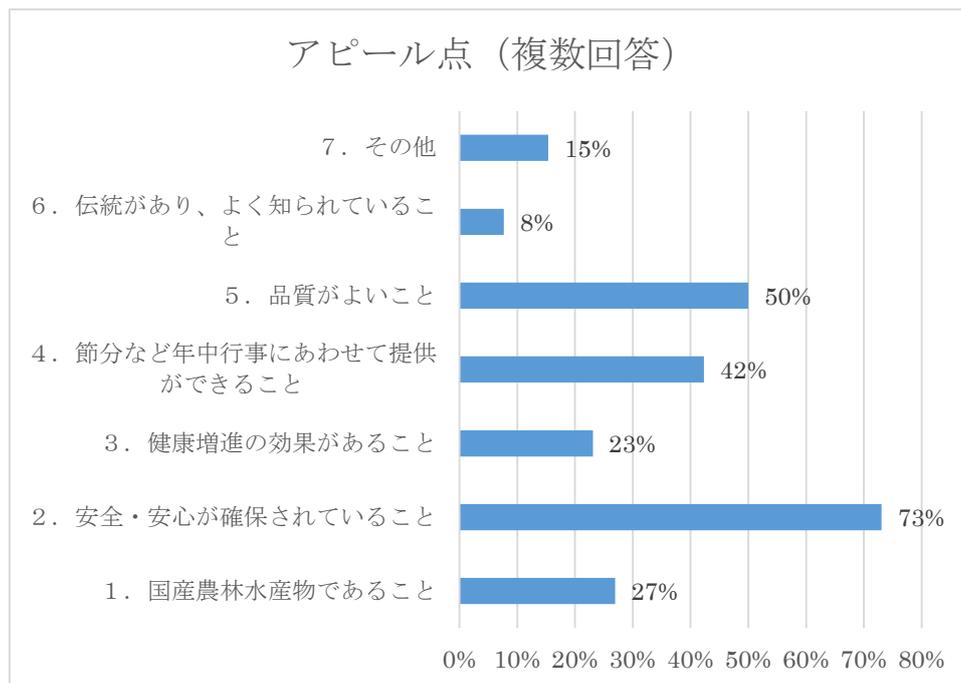


③ 国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食の種類と具体的品名

国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食の種類を聞いたところ、最も多かったのは「煮物」と「肉料理」であった。

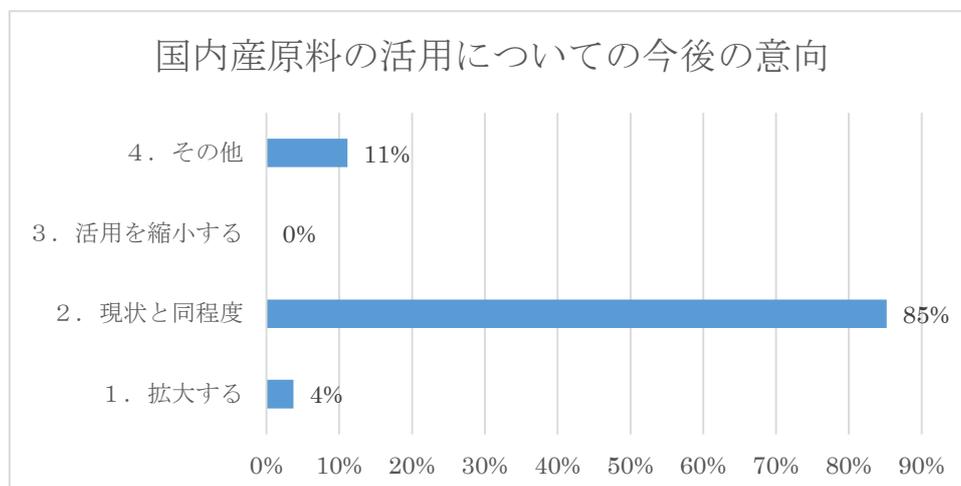
④ 国内産原料を主要原料とした高齢者福祉施設給食を提供するに当たり、
アピールしている点

国内産原料を主要原料とした病院給食を提供するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「安全・安心が確保されていること」と回答した病院の割合が高く、73%であった。次に割合が高かったのは「品質がよいこと」の50%であった。

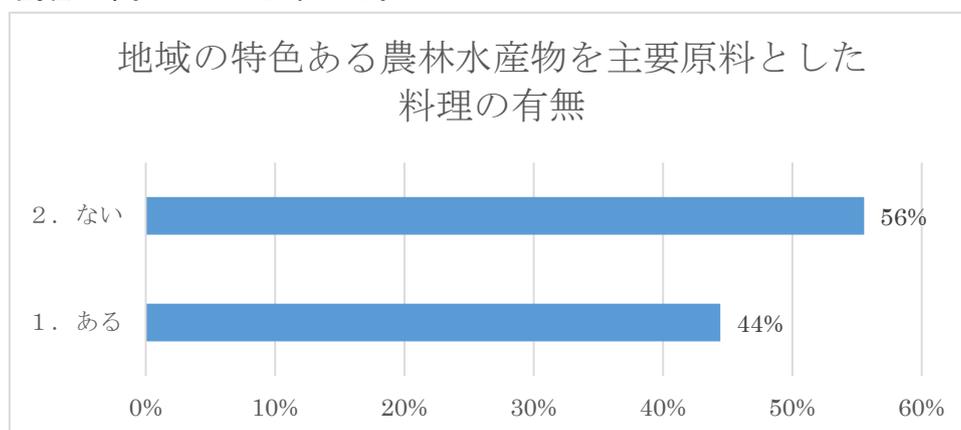


⑤ 国内産原料の活用についての今後の意向

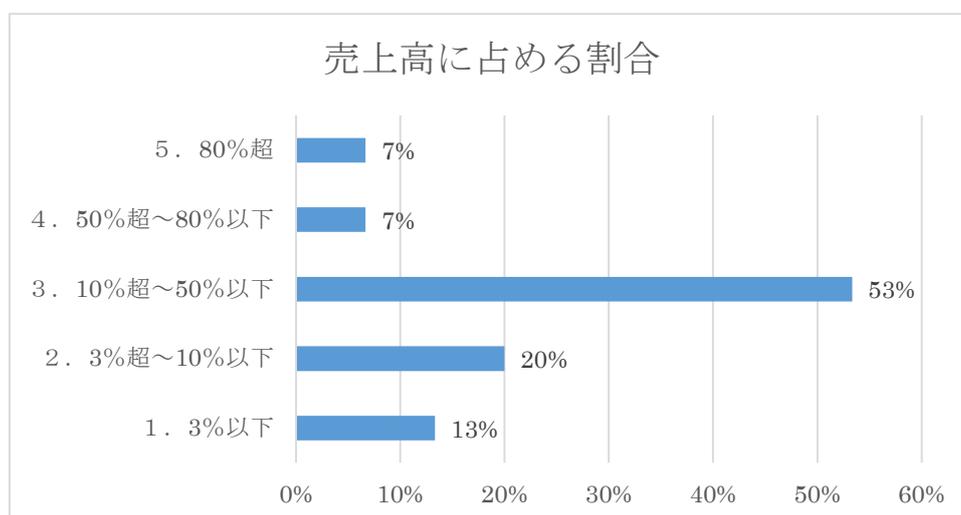
国内産原料の活用についての今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した高齢者福祉施設の割合が高く、85%であった。



- ⑥ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食の有無
給食を提供している高齢者福祉施設に地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ない」と回答した高齢者福祉施設の割合が高く56%であった。



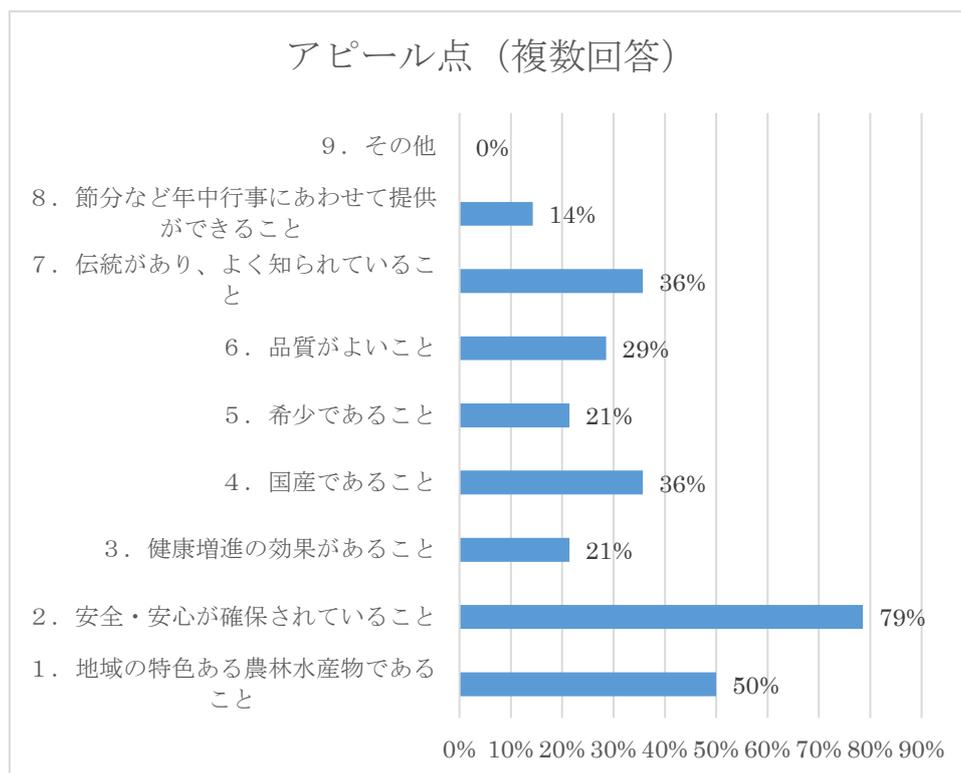
- ⑦ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食が、自社の高齢者福祉施設給食の売上高に占める割合
⑥で「ある」と回答した高齢者福祉施設に対し、地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食が自社の高齢者福祉施設給食の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した施設の割合が高く53%であった。



- ⑧ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食の種類と具体的品名
地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食の種類を聞いたところ、最も多かったのは「煮物」であった。

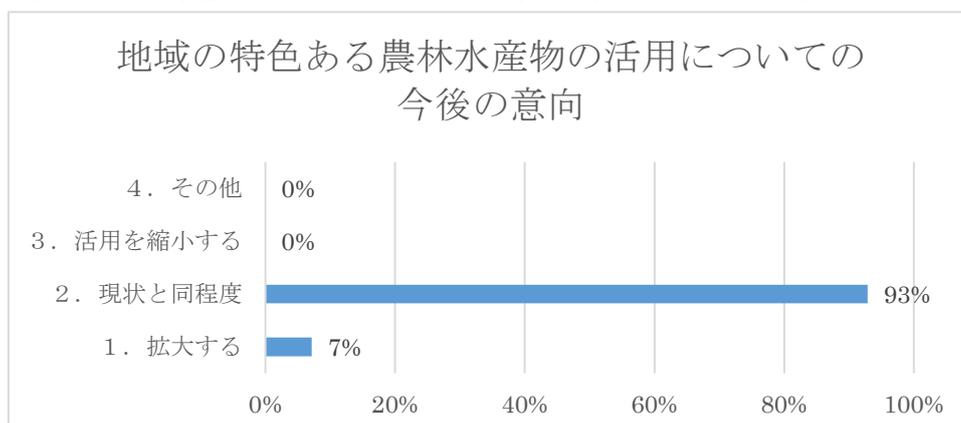
⑨ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食を提供するに当たり、アピールしている点

地域の特色ある農林水産物を主要原料とした高齢者福祉施設給食を提供するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「安全・安心が確保されていること」と回答した病院の割合が高く、79%であった。次に割合が高かったのは「地域の特色ある農林水産物であること」の50%であった。



⑩ 地域の特色ある農林水産物の活用についての今後の意向

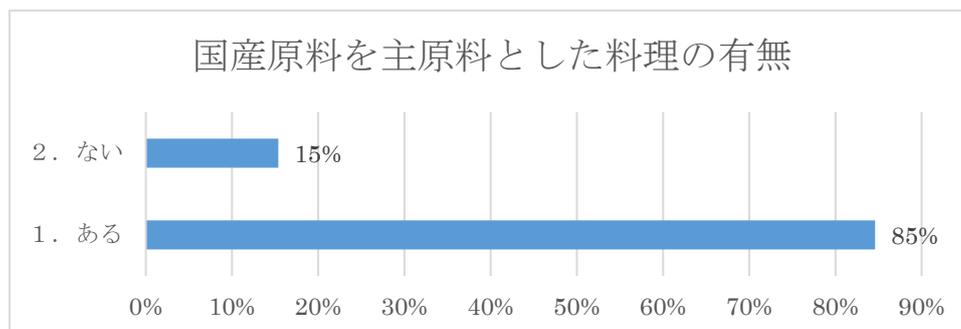
地域の特色ある農林水産物の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した病院の割合が高く、93%であった。



テーマ5. 社員食堂のメニューについて

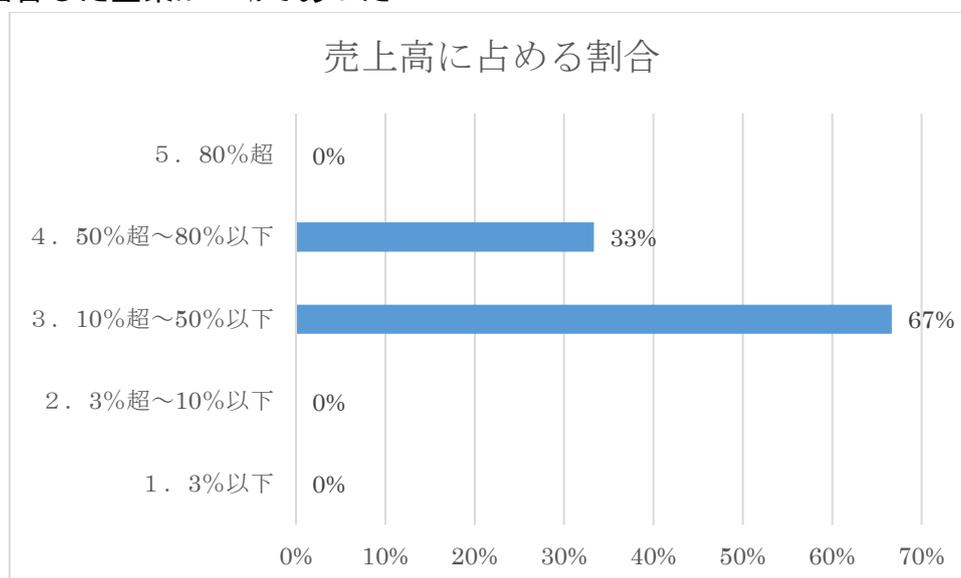
① 国内産原料を主要原料とした料理の有無

社員食堂を運営する企業に国内産原料を主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く 85%であった。



② 国内産原料を主要原料とした料理が自社の料理の売上高に占める割合

①で「ある」と回答した企業に対し、国内産原料を主要原料とした料理が自社の料理の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した企業の割合が高く 67%であった。ほかには「50%超～80%以下」と回答した企業が 33%であった

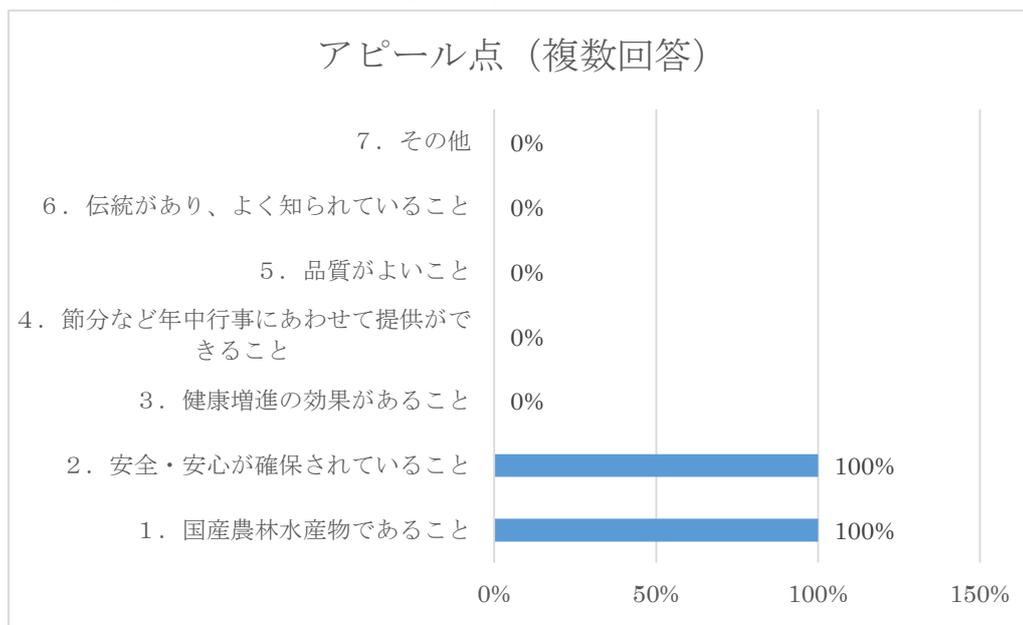


③ 国内産原料を主要原料とした料理の種類と具体的品名

国内産原料を主要原料とした料理の種類を聞いたところ、ほとんど回答は得られなかった。

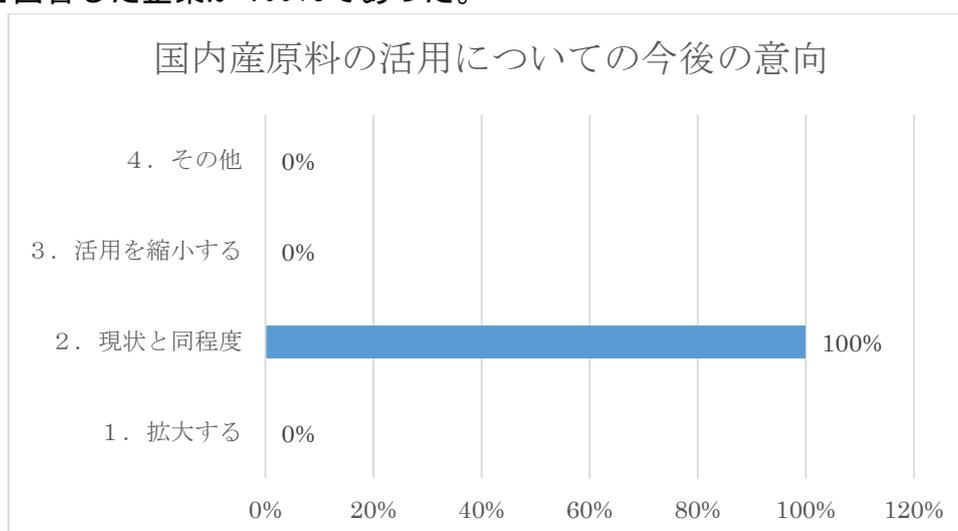
④ 国内産原料を主要原料とした料理を販売するに当たり、
アピールしている点

国内産原料を主要原料とした料理を販売するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「国産農林産物であること」と「安全・安心が確保されていること」がともに100%であった。



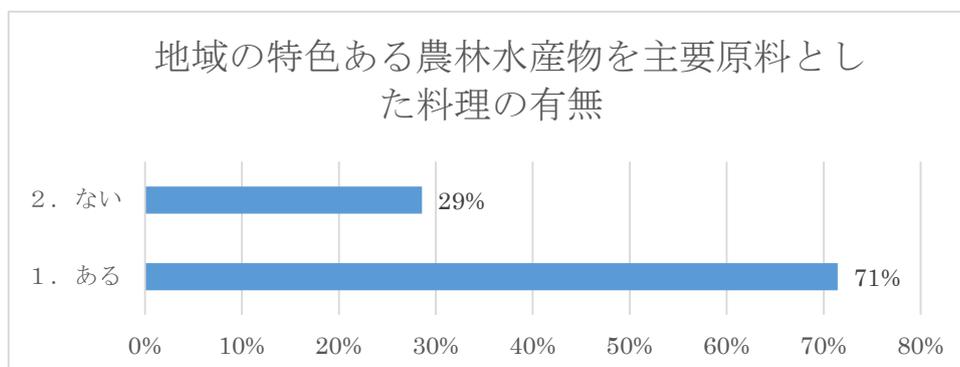
⑤ 国内産原料の活用についての今後の意向

国内産原料の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した企業が100%であった。



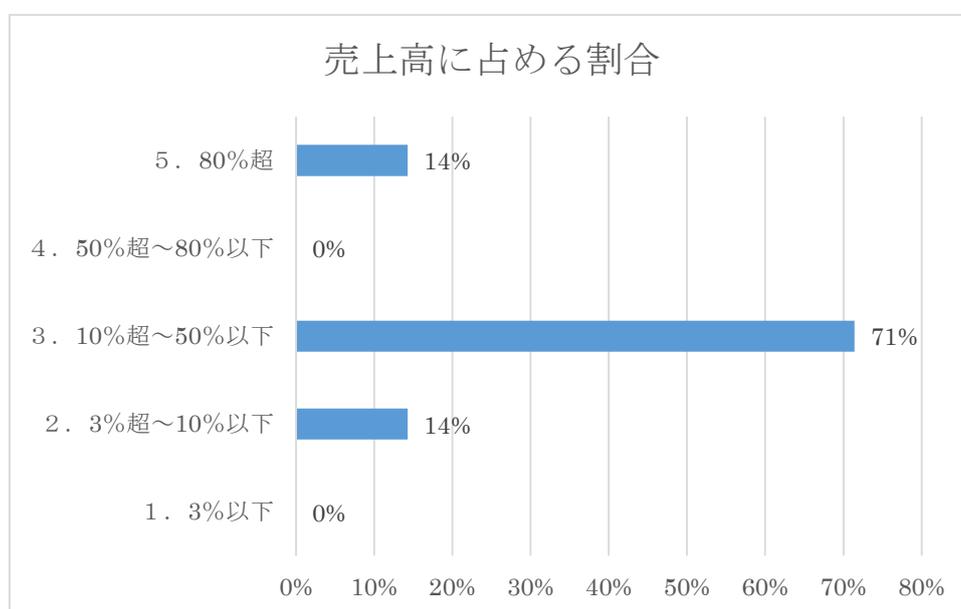
⑥ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の有無

料理を販売している企業に地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く71%であった。



⑦ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理が、自社の料理の売上高に占める割合

⑥で「ある」と回答した企業に対し、地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理が自社の料理の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した企業の割合が高く71%であった。

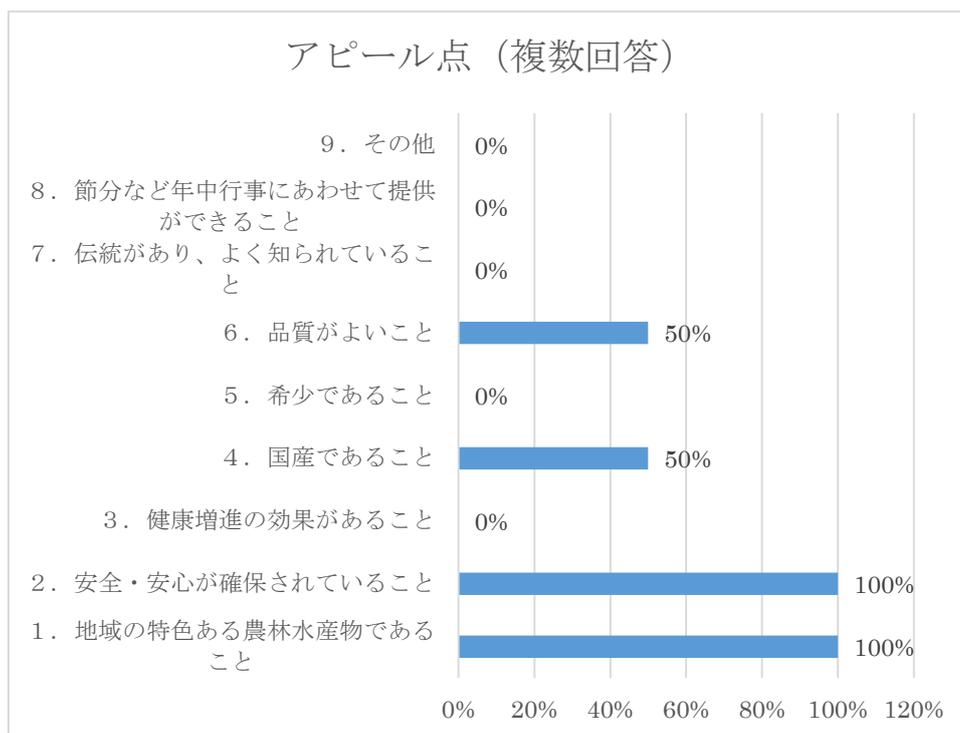


⑧ 地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の種類と具体的品名

地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の種類を聞いたところ、ほとんど回答は得られなかった。

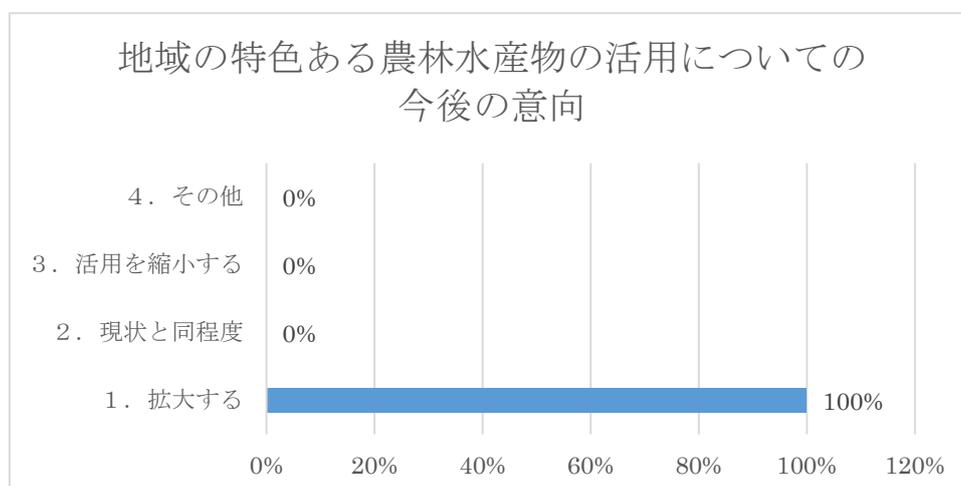
⑨ 地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした料理を販売するに当たり、アピールしている点

地域の特徴ある農林水産物を主要原料とした料理を販売するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「地域の特徴ある農林水産物であること」と「安全・安心が確保されていること」が最も高く、ともに100%であった。



⑩ 地域の特徴ある農林水産物の活用についての今後の意向

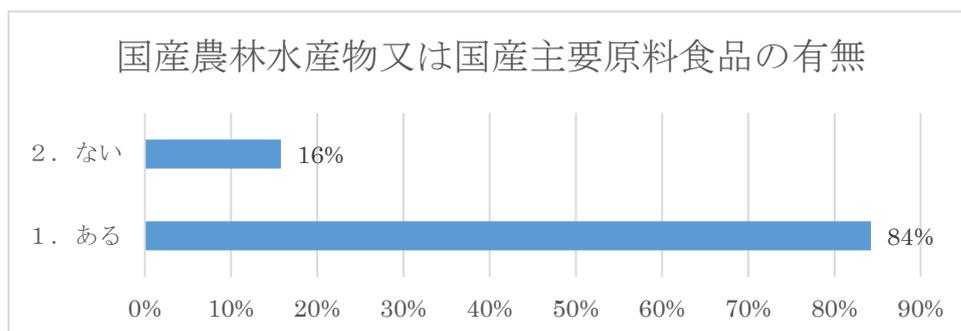
地域の特徴ある農林水産物の活用について今後の意向を聞いたところ、「拡大する」と回答した企業の割合が高く、100%であった。



テーマ6. e-コマースで販売される農林水産物・食品について

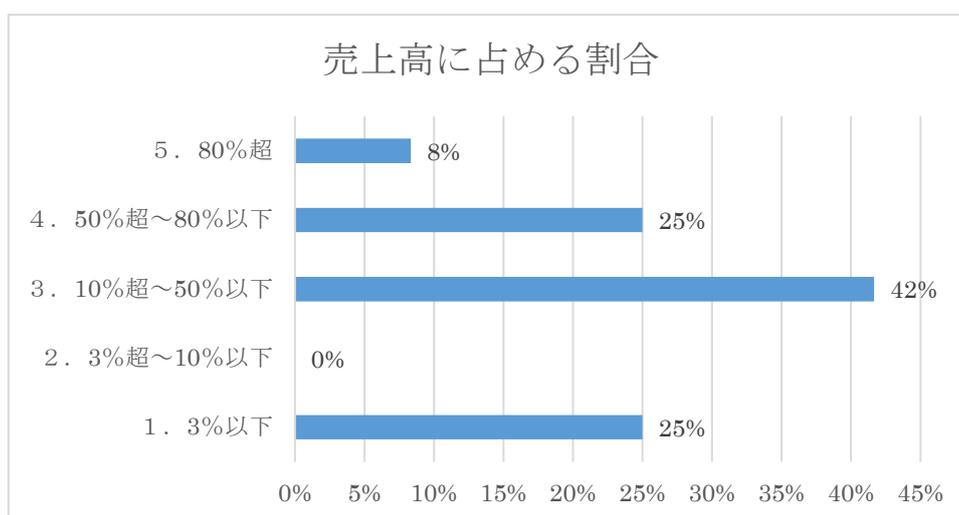
① 国産の農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無

e-コマースで農林水産物や食品を販売している企業に国産の農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く84%であった。



② e-コマースにおける国産の農林水産物又は国産主要原料食品が自社のe-コマースの売上高に占める割合

①で「ある」と回答した企業に対し、国産の農林水産物又は国内主要原料食品が自社のe-コマースの売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した企業の割合が高く42%であった。次に割合が高かったのは「50%超～80%以下」と「3%以下」の25%であった。

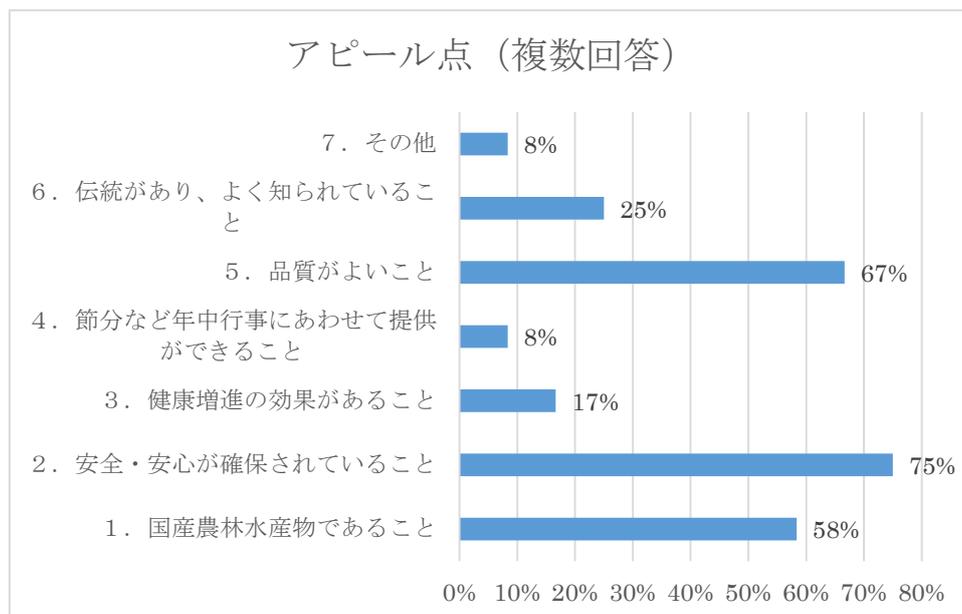


③ 国産の農林水産物又は国産主要原料食品の種類と具体的品名

国産の農林水産物又は国産主要原料食品の種類を聞いたところ、最も多かったのは「その他（農林水産物含む）」であった。

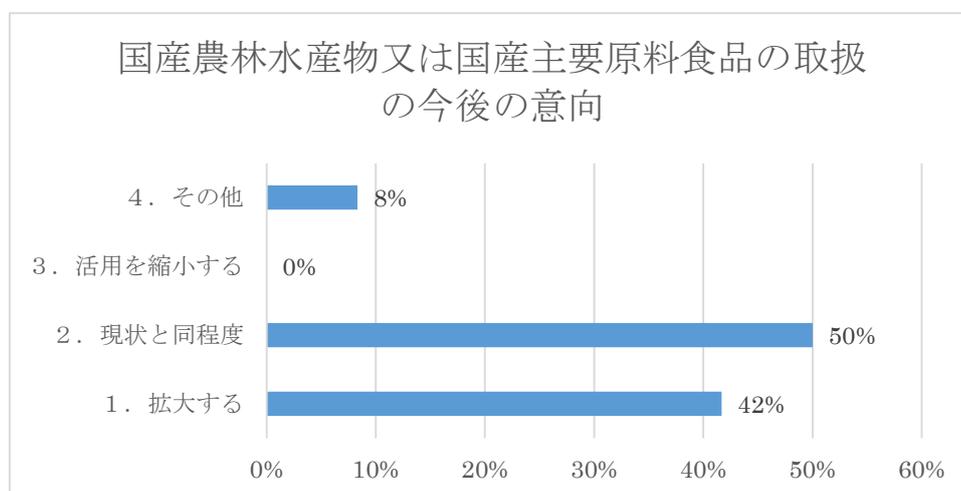
④ 国産の農林水産物又は国産主要原料食品をe-コマースで販売するに当たり、アピールしている点

国内産の農林水産物又は国産主要原料食品をe-コマースで販売するに当たり、アピールしている点を聞いたところ「安全・安心が確保されていること」と回答した企業の割合が高く、75%であった。次に割合が高かったのは「品質がよいことの67%、次いで「国産農林水産物であること」の58%であった。



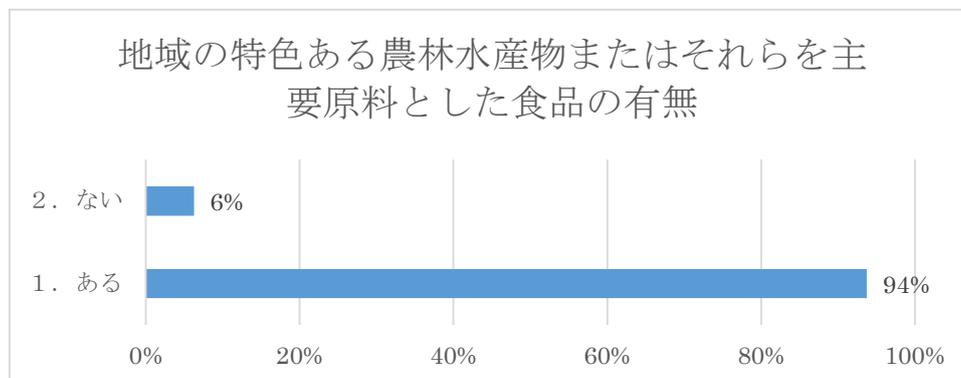
⑤ 国内産原料の活用についての今後の意向

国内産原料の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」と回答した企業の割合が高く、50%であった。次いで「拡大する」の42%であった。



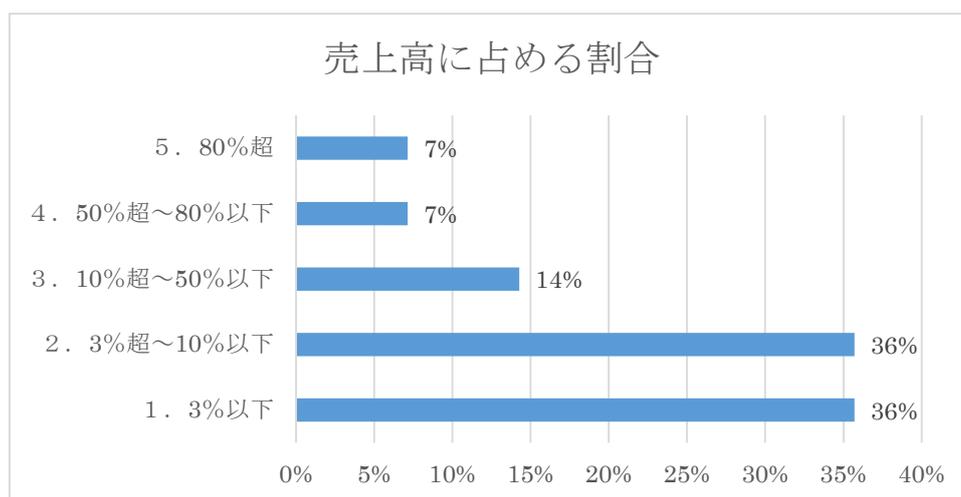
⑥ 地域の特色ある農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無

e-コマースで農林水産物や食品を販売している企業に地域の特色ある農林水産物又はそれらを主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く 94%であった。



⑦ e-コマースにおける地域の特色ある農林水産物又は地域主要原料食品の売上高が、自社の農林水産物又は地域主要原料食品のe-コマースの売上高に占める割合

⑥で「ある」と回答した企業に対し、地域の特色ある農林水産物又は地域主要原料食品が自社のe-コマースの売上高に占める割合を聞いたところ、「3%以下」と「3%超～10%以下」と回答した企業の割合が高く、ともに 36%であった。

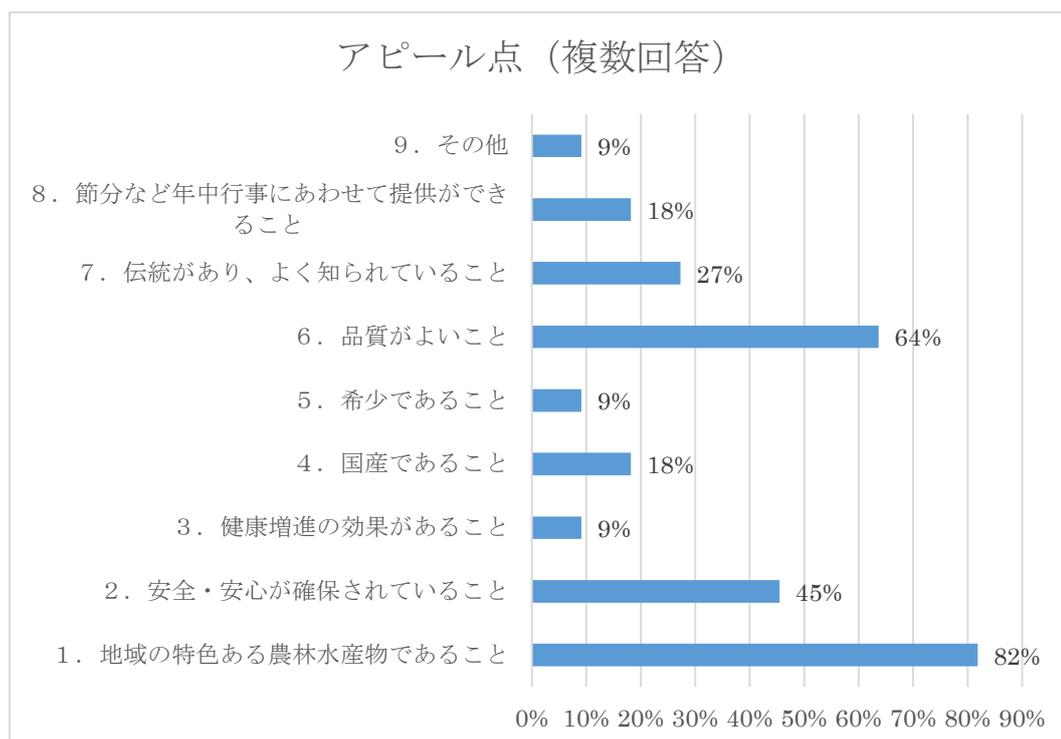


⑧ 地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品の種類と具体的品名

地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品の種類を聞いたところ、最も多かったのは「果実」であった。

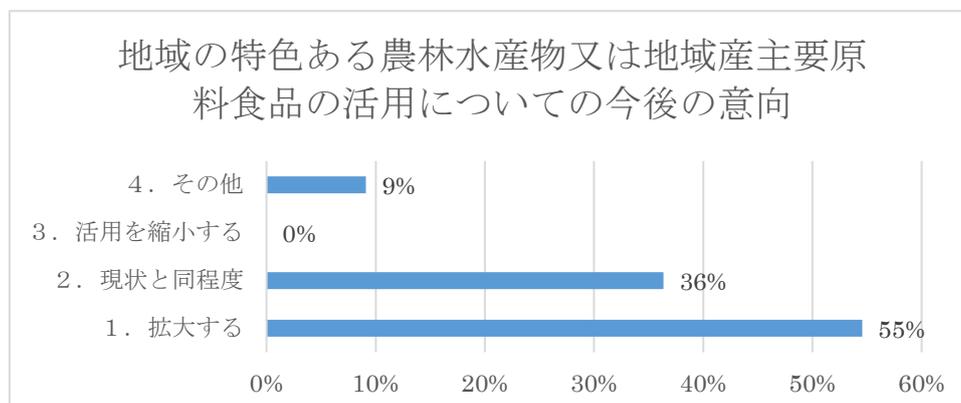
⑨ 地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点

地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点を聞いたところ「地域の特色ある農林水産物であること」
と回答した企業の割合が高く、82%であった。次に「品質がよいこと」の64%、
「安全・安心が確保されていること」の45%の順であった。



⑩ 地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の活用についての
今後の意向

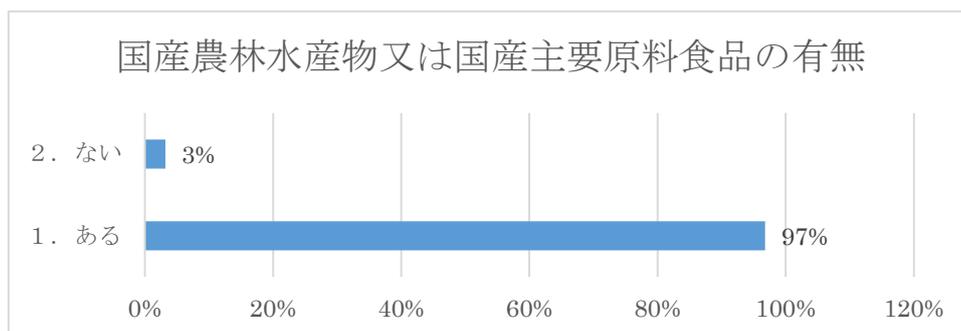
地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の活用について今後の
意向を聞いたところ、「拡大する」と回答した企業の割合が高く、55%であ
った。



テーマ7. 宅配で販売される農林水産物・食品について

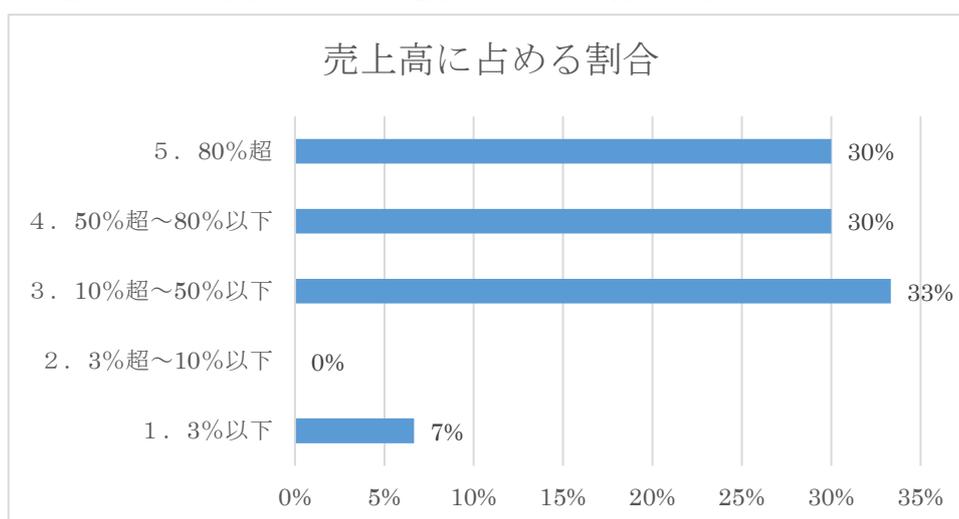
① 国産の農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無

宅配で農林水産物や食品を販売している企業に国産の農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く 97%であった。



② 宅配における国産の農林水産物又は国産主要原料食品が自社の宅配の売上高に占める割合

①で「ある」と回答した企業に対し、国産の農林水産物又は国産主要原料食品が自社の宅配の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した企業の割合が高く 33%であった。次に割合が高かったのは「50%超～80%以下」と「80%超」の 30%であった。

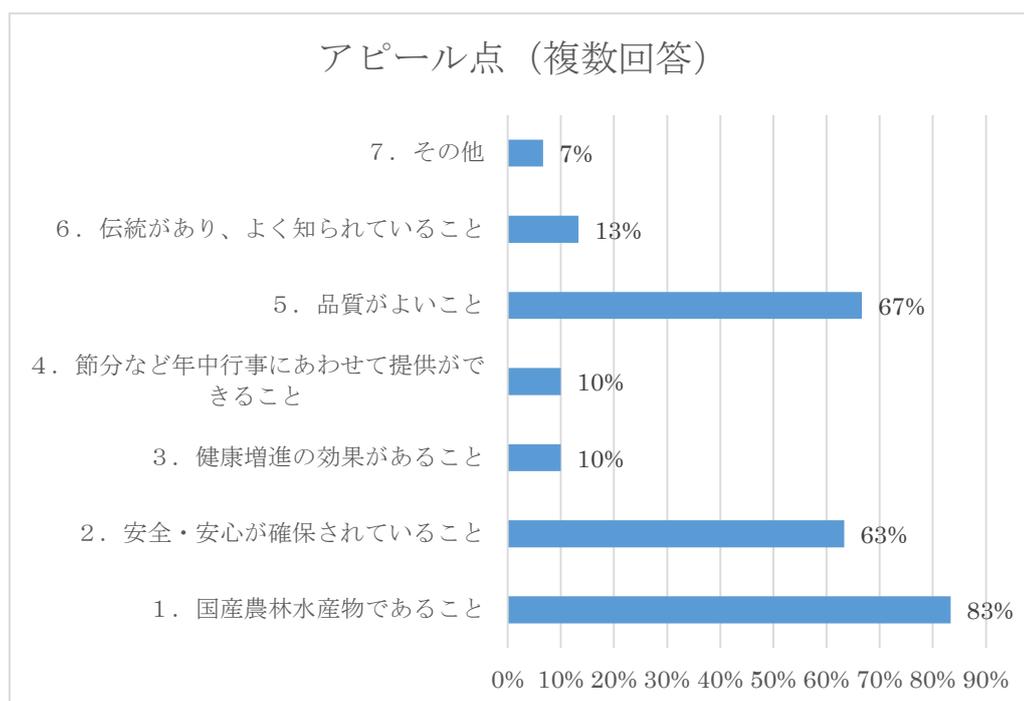


③ 国産の農林水産物又は国産主要原料食品の種類と具体的品名

国産の農林水産物又は国産主要原料食品の種類を聞いたところ、最も多かったのは「畜産食品」であった。

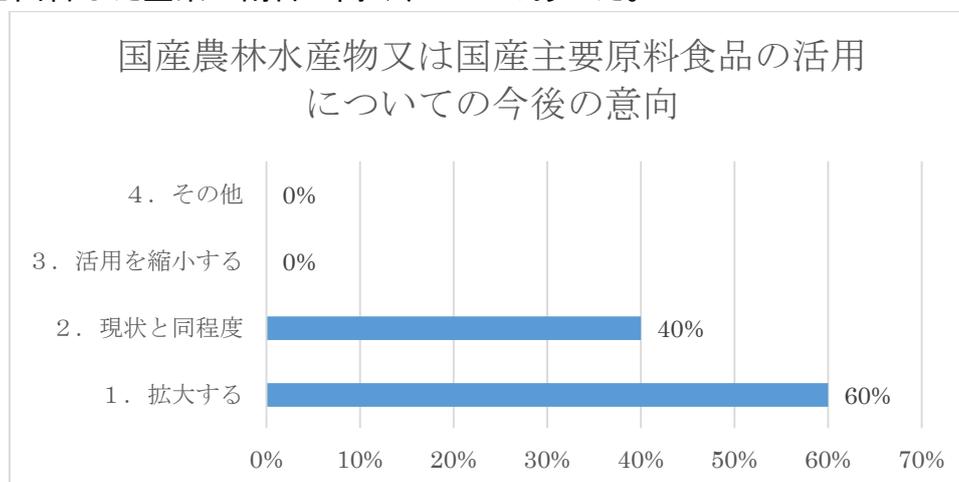
④ 国産の農林水産物又は国産主要原料食品を宅配で販売するに当たり、
アピールしている点

国内産の農林水産物又は国産主要原料食品を宅配で販売するに当たり、
アピールしている点を聞いたところ「国産農林水産物であること」と回答した
企業の割合が高く、83%であった。次に割合が高かったのは「品質がよいこ
と」の67%、「安全・安心が確保されていること」の63%であった。



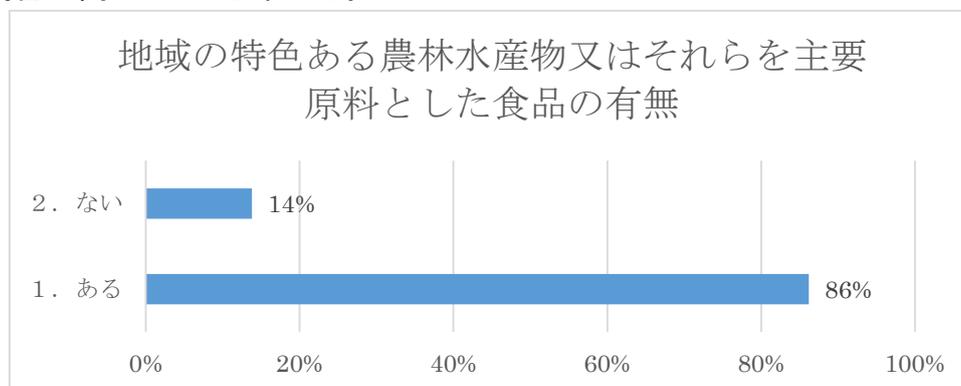
⑤ 国内産原料の活用についての今後の意向

国内産原料の活用について今後の意向を聞いたところ、「現状と同程度」
と回答した企業の割合が高く、85%であった。



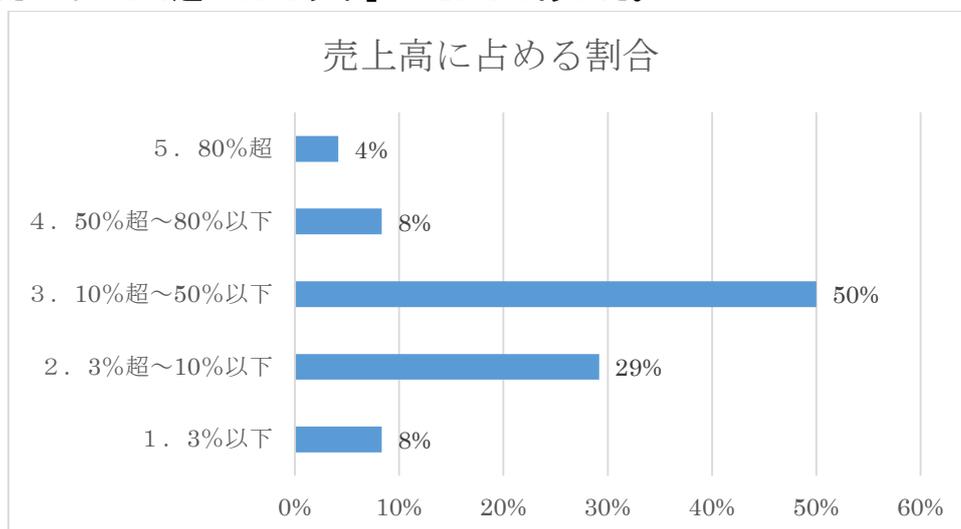
⑥ 地域の特色ある農林水産物又はそれらを主要原料とした食品の有無

宅配で農林水産物や食品を販売している企業に地域の特色ある農林水産物を主要原料とした料理の有無を聞いたところ、「ある」と回答した企業の割合が高く 86%であった。



⑦ 宅配における地域の特色ある農林水産物又は地域主要原料食品の売上高が、自社の農林水産物又は地域主要原料食品の宅配の売上高に占める割合

⑥で「ある」と回答した企業に対し、地域の特色ある農林水産物又は地域主要原料食品が自社の宅配の売上高に占める割合を聞いたところ、「10%超～50%以下」と回答した施設の割合が高く 50%であった。次に割合が高かったのは「3%超～10%以下」の 29%であった。

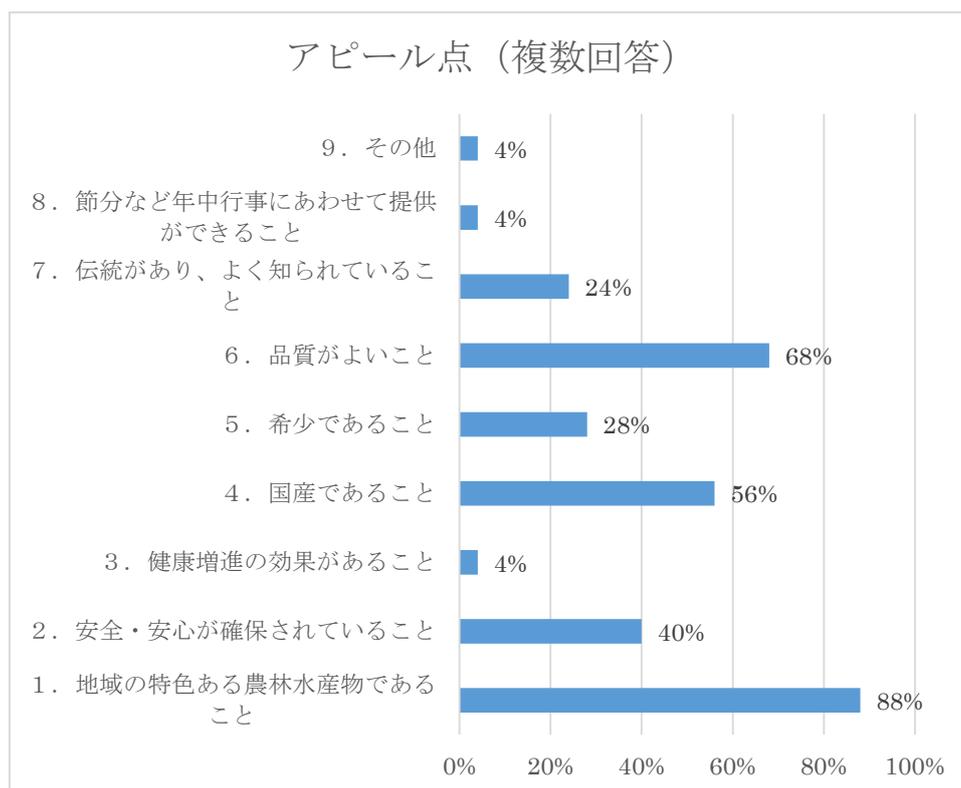


⑧ 地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品の種類と具体的品名

地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品の種類を聞いたところ、最も多かったのは「畜産食品」であった。

⑨ 地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点

地域の特色ある農林水産物又は地域産主原料食品を販売するに当たり、
アピールしている点を聞いたところ「地域の特色ある農林水産物であること」
と回答した企業の割合が高く、88%であった。次に割合が高かったのは「品
質がよいこと」の68%、「国産であること」の56%であった。



⑩ 地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の活用についての
今後の意向

地域の特色ある農林水産物又は地域産主要原料食品の活用について今後
の意向を聞いたところ、「拡大する」と回答した企業の割合が高く、68%であ
った。

